

琉球大学

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

琉球大学 大学案内 2024

琉大の7学部

人文社会学部



⇒ P9

国際地域
創造学部



⇒ P15

教育学部



⇒ P23

理学部



⇒ P27

医学部



⇒ P35

工学部



⇒ P43

農学部



⇒ P53

学長挨拶

琉球大学は、戦後間もない1950年5月22日に首里城跡地に開学しました。米国のミシガン州立大学の教授陣の協力を得て、「地域に根差し、地域のために」という精神を強く受け継ぐ大学として成長を遂げてきました。琉球大学が国際性と地域性を併せもつのも、この成り立ちがあるからこそと言えます。また、琉球列島は、陸から海へと亜熱帯の自然が広がり、島嶼(とうしょ)という地域的特性の中で育まれた歴史や文化も非常にユニークです。これらの特徴を活かした教育・研究が数多く行われている琉球大学で、皆さんも学んでみませんか!



学長
にしだ むつみ
西田 睦

Contents

[特集]

琉大ではじめるSDGs	3	工学部	43
		工学科	45
人文社会学部	9	機械工学コース	46
国際法政学科	11	エネルギー環境工学コース	47
人間社会学科	12	電気システム工学コース	48
琉球アジア文化学科	13	電子情報通信コース	49
琉大VOICE! 卒業生・在校生インタビュー	14	社会基盤デザインコース	50
		建築学コース	51
国際地域創造学部	15	知能情報コース	52
観光地域デザインプログラム	17		
経営プログラム	18	農学部	53
経済学プログラム	19	亜熱帯地域農学科	55
国際言語文化プログラム	20	亜熱帯農林環境科学科	56
地域文化科学プログラム	21	地域農業工学科	57
琉大VOICE! 卒業生・在校生インタビュー	22	亜熱帯生物資源科学科	58
		琉大VOICE! 卒業生・在校生インタビュー	59
教育学部	23	農場の紹介	60
学校教育教員養成課程	25		
		こんな取組もやっています～包括連携協定～	61
理学部	27	キャンパスマップ	65
数理科学科	29	施設紹介	67
物質地球科学科	31	キャンパスカレンダー	73
海洋自然科学科	33	海外留学	75
		学生寮	77
医学部	35	経済サポート	79
医学科	37	キャリア教育・支援と卒業生の進路	80
保健学科	39	取得可能な教員免許状	81
医学部・病院移転	41	教員免許状以外の資格等	82
		2024(令和6)年度募集人員	83
		令和7年度新入試について	84
		ACCESS	86



琉大ではじめる

世界中にある課題を2030年までに解決し、持続可能な社会の実現を目指す「SDGs」。琉大では、学生と教員が一緒になってSDGsに関するさまざまな取り組みを行っています。ここでは、その中から「琉大ミーバイ」と「エコキャン」をピックアップしてご紹介します。

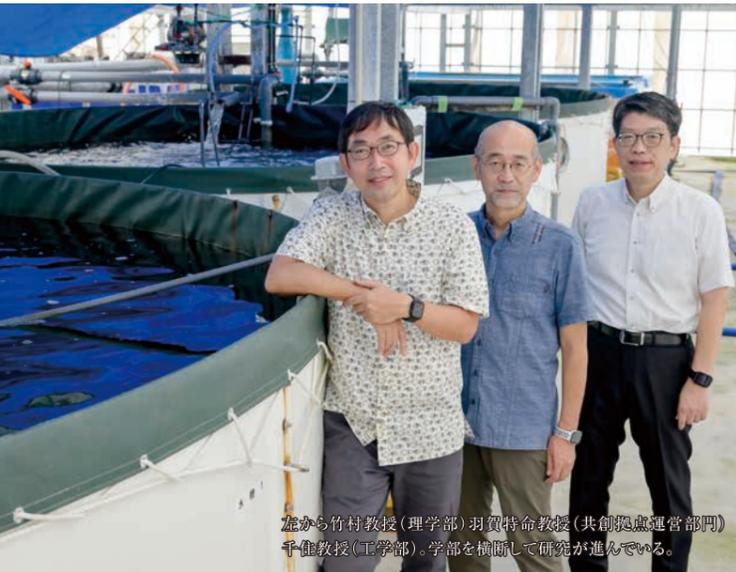


#01

琉大ミーバイプロジェクト



① 養殖された「琉大ミーバイ」(和名:ヤイトハタ) ② 地元ホテルで琉大ミーバイを使った料理を提供
③ 養殖を行っている一般社団法人中城村養殖技術研究センター(NAIce)には太陽光パネルを設置。④ 養殖水槽を掃除する研究者。⑤ 学部横断した研究の様子(写真は農学部)。



左から竹村教授(理学部)羽賀特命教授(共創拠点運営部門)千佳教授(工学部)。学部を横断して研究が進んでいる。



レトルパウチとして販売されている。



理学部での研究の様子

琉大ミーバイが世界の課題を解決する未来を目指して

琉大では、沖縄の高級魚であるヤイトハタ(沖縄方言でアーラミーバイ)を陸上養殖し、「食」と「エネルギー」の循環社会モデルの形成に向けた研究プロジェクトがおこなわれています。琉大の研究知見を取り入れ養殖されたヤイトハタは「琉大ミーバイ」の名前で商標登録され商品開発も進められています。プロジェクトリーダーの理学部海洋自然科学科の竹村明洋教授にお話を聞きました。

このプロジェクトを立ち上げた理由を教えてください。

まず、将来起こりうる課題を考えることから始めました。人口増加によって食料の安定供給が困難になっていくこと、エネルギー供給の持続可能性が不十分になっていくこと、食品廃棄の問題が深刻化していくこと、担い手不足で漁業経営の継続が困難になっていくこと。これらの解決策を考えたときにたどり着いたのが、魚の陸上養殖でした。これまでの主流は海面養殖で、海水を飼育水として引き込み、循環、排水させる『かけ流し式』でしたが、これだと海や河川から離れた場所ではできません。対して陸上養殖は、飼育水をろ過システムで浄化しながら循環利用する『完全閉鎖循環式』なので、山の中や砂漠地域でも可能です。立地を選ばず、より高い生産性を実現できる陸上養殖は、今世界中で求められているものだと感じています。



①再生可能エネルギー研究エリア ②定期的な体調測定と魚の他水槽への移し替えの様子 ③「琉大ミーバイ」商品開発広報担当、福永耕大特命助教

陸上養殖のメリットはほかにもありますか？

まず、飼育環境を人の手によって管理できること。効果的な影響を魚に与えることで早く大きく成長させることができます。また、使用する水や餌が明確なので、いつでもだれが作ったのかというトレーサビリティが高いこと、排水処理の管理ができるので海や山への環境負荷を抑えられること、場所の制約が少なく、漁業権が不要なため、水産業界への入り口が広がり雇用につながる。それから、作業量や人件費が軽減できることなど、たくさんのメリットがあります。

プロジェクトでは、実際どんなことを行っているのでしょうか？

大学の近くに、『一般社団法人中城村養殖技術研究センター』という施設があり、そこで学生たちとヤイトハタの陸上養殖を行いながら、養殖技術の研究開発を行っています。目指すは、食とエネルギーの循環社会モデルを作ることですが、陸上養殖にはどうしてもエネルギーがかかる。なので、100%再生可能エネルギーの活用を目指して、太陽光パネル、風力発電機を設置し、研究を重ねています。それから魚の餌に植物性残渣や昆虫を使用するなど、廃棄食料の飼料化に向けた研究も行っています。現在、プロジェクトに参加しているのは、主に私の研究室の大学院生ですが、参加したいという学生は誰でも大歓迎。今日集まった院生たちは、海水を使わず飼育できる塩分濃度を研究したり、成長を促すためにどんな光を当てたらいいか実験したり、各自違うテーマで取り組んでいて、とても楽しそうです。

アーラミーバイってどんな魚？

本州ではハタ、九州ではアラと呼ばれる魚。数種類あるミーバイの中でも、アーラミーバイは環境変化に対応しやすく成長が早いので養殖に最適なことから本プロジェクトの研究課題として起用。高級魚ミーバイを使ったバター焼きや魚汁などは、県民が愛するごちそう料理。

「琉大ミーバイ」の商標で商品テストマーケティングも実施していますね。

ただ育てるだけでなく、収益化の仕組みを作ることが水産業界の未来にとって大事。環境にやさしい生産法でつくられたブランド魚としての価値を高め、その魅力を多くの人に知ってもらえるよう、学生たちがレシピ考案やパッケージデザインに取り組み、商品開発したものです。

琉大理学部・農学部・工学部が共同開発している農水一体型循環式陸上養殖システムとは？

琉大の農場に陸上養殖施設を設置して、水産区と植物工場区、廃棄物処理区を一体化する計画を進めています。具体的には、農業で出る植物性残渣を魚の餌に活用し、魚から出る糞などの有機物を堆肥化して農場へ戻す。また、塩分に耐えられる植物を選定して、魚の飼育水を使った水耕栽培を行うといった循環システムです。この運営の要となるのは、情報技術。AI技術を駆使して、より効率的な農水連携の実現と、将来的には人の作業負担がない自動化運用を目指しています。

20年後は水産業と農業の垣根がなくなる?! 将来ビジョンをお聞かせください。

今の水産業は「3K職場」といわれ、若い人たちの就業率が下がっていますが、それを希望と自信を持って働ける産業に変えていくことが目標です。そのために、海の産業を陸に上げ、農業との親和性を高めていこう、と。プロジェクト設立当時、地元の高校生がディスカッションに参加してくれて、『20年後には、水産業と農業の垣根がなくなり、僕たちはひとつの産業の場で働いているはずだ』と語ったんです。それこそ、このプロジェクトが掲げるビジョンだと感服しました。一次産業が融合した新産業が創られ、若者たちがそこで活躍している。そんな社会を目指しています。また、琉大には東南アジアの留学生がいるので、この農水一体型陸上養殖のシステムを自国に持ち帰り、経済的な自立に活用してもらいたい。沖縄モデルがグローバルな循環社会モデルとして広まることを目標に、力を注いでいきたいと思っています。

アーラミーバイが「琉大ミーバイ」の名前で商品に!



2022年、「イオン琉球」で刺身販売されたほか、企業と組んで学生が開発した加工食品「琉大卒のサカナたちシリーズ」の第1弾「琉大ミーバイのアクアバツツァ」発売、琉大生協での琉大ミーバイ定食の提供、県内リゾートホテルでのオリジナル料理提供など、魅力的な商品展開が実現した。県内では「琉大ミーバイ」、県外に向けては「美らハタ」のブランド名で発信。

※「琉大ミーバイ®」「美らハタ®」は琉球大学の登録商標です。

2023年に新発売。ご飯に混ぜて仕上げるじゅーしい(炊きこみご飯)の素とミーバイ汁。

肉厚なミーバイの切り身をトマトと煮込んだ旨みたっぷりの「琉大ミーバイのアクアバツツァ」

「琉大卒のサカナたち」シリーズ第2弾は、魚の出汁が染みわたる「琉大ミーバイのお味噌汁」

「CRAFT FISH」で古田崇シェフが監修した黒酢あんかけ仕立ての「美らハタの揚げ魚」



#02 エコキャン



学生主体で楽しみながら 取り組む「環境アクション」

7つの学部が位置する2つのキャンパスを擁し、130万㎡の広大な敷地を誇る琉球大学では、「サステナブルキャンパス」を目指して、独自のマネジメントシステムによる「エコロジカル・キャンパス実施マニュアル」を作成し、それに基づいた環境活動を実施しています。その中で注目されている「エコキャン」について、指導を担当している大島順子先生に伺いました。



琉球大学国際地域創造学部
専門分野：地域・環境教育論
エコロジカル・キャンパス専門部会委員長
大島 順子 准教授

「エコキャン」とは？

エコキャンは「エコロジカル・キャンパス学生委員会」の略称で、大学が設置している環境・施設マネジメント委員会の中にある「エコロジカル・キャンパス専門部会」の下部組織に位置付けられています。学生は学部を問わず活動に参加でき、学内のクリーンキャンパス活動や海岸でのビーチクリーン活動など、SDGsに関する取り組みを行っています。琉大には5つの副専攻があり、その中の1つである「総合環境学副専攻」の必修単位の1つに「環境インターンシップI」という科目があります。実践的な活動を通して学ぶという意味で、この授業ではエコキャンの活動をそのまま単位化できるようにしています。メンバーは約30名で、常にアクティブなメンバーは約15名弱。医学部の学生や大学院生など、琉大の7学部すべてから加入しているのもユニークな点です。

どんな活動を行っていますか？

環境問題やSDGs に対する意識を高め、具体的な行動に移すことを目標に活動していますが、より持続的で快適なキャンパスライフを目指

し、学生の主体的で自由な発想に基づいて考え行動することを大切にしています。

学内での活動はクリーンキャンパスやリサイクル資源の回収、例えばペットボトルのキャップや生協のデポジット換金用の弁当の空箱回収は毎月行っています。また、大学の環境活動を紹介する「キャンパス・エコツアー」のガイドも務めています。大学の取組みを知り、職員から頂くデータを質問形式にして楽しく説明することで、キャンパスに通うすべての学生に大学の取組みと魅力に気づき、エコロジカルで持続可能なキャンパスづくりに貢献できるよう促しています。学外での活動は、最近では地域自治体と連携したビーチクリーンも始めています。世代を超えた地域とのつながりを意識できるようになりました。

エコキャンを通して感じる学生の成長とは？

コミュニケーション能力が高まりましたね。個性豊かなメンバーのいろいろな意見を受け入れながら、どうまとめるかを実践で学んでいると思います。学生が自ら物事を進めることで細かな手順が把握出来るようになります。人前で話すことが苦手だった学生も、役割を担うことできちんと出来るようになり、その積み重ねが自信につながっているようです。「環境インターンシップI・II」授業でのエコキャン活動では、学生が出欠を取り、活動内容を説明したり、実際のゴミ拾いや分別も学生が自発的に行うシステムを引き継いでいます。定期的な活動に加え、新規の活動を提案する時は企画書を作成し、プレゼンを行います。正確で有益な情報を盛り込み、予算の現実性を元に活動が円滑に効率良く進むような企画書を書くのは、社会の中で事業を起こす際の基本ですが、その点からも一から学ぶことになります。報・連・相の重要性と共に、物事がきちんと進むためのスキルが身に付きます。社会に出た時の「実践力」を学生のうちから身に付けることで、みんなすごく成長していきますね。このノウハウを受け継ぎ、次の世代を育てることも学生自身が意識していることは頼もしいですね。

琉大「エコキャン」メンバーに聞いてみた！

エコキャンに参加してよかったことは？

松岡 参加してまだ1か月も経ってないんで…。

藤本 だったら伸びしろかなりあるよ〜(笑)。

松岡 これから活動の中で成長します！

比嘉 参加して半年で意識が変わり、学内を歩く時もゴミのことを考えてます。生協で販売している弁当の空箱「リ・リパック」を集める活動でメッシュサポートに寄付することもできました。

八重樫 コミュニケーション力や情報発信力が身につきました。東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2021」に出展参加した時、エコキャンに対する周囲の関心が大きかったのもうれしかった。

阿部 僕もエコプロや「環境マネジメント全国学生大会」への参加で、他大学や環境団体、一般企業の方と交流できました。SDGsや環境問題の知識に造詣が深くなったと思う。

藤本 いろんな人と話すからコミュニケーション力は高くなったよね。僕も引込み思案だったけど、委員長になって変わったと思う。

竹内 度胸もつきます。人前で企画書の発表とかもあるから。

内間 エコキャンでゴミの分別が学べたし、エコツアーを担当して琉大のことを幅広く学べたのもすごくよかった。自発的に動くようにもなったと思う。

阿部 「自発的」こそエコキャンのテーマ。やりたいことは企画書を書いてプレゼンして、新しい活動も生まれたね！

牛久保 そう。「清掃中!」は琉大キャンパスを舞台にチーム対抗でゴミ拾いをして、ゴミを点数化して競い合うイベントで、ミッションをクリアしたり、ゲーム感覚で楽しめます。

藤本 結構本格的で、エリアを移動させて広範囲でゴミ拾いをさせる工夫もある！

牛久保 ゴミ拾いには興味があったけど、環境問題はそうでもなかった僕にとって、エコキャンは節水や省エネ、環境問題を深く学ぶというモチベーションになっています。

竹内 エコキャンでプロジェクトも取り組む中で「やり遂げる力」が身に付いたのはうれしい。多種多様な学部から集まったメンバーにいつも刺激をもらっています。

琉大を目指す後輩にエコキャンのPRを一言。

八重樫 エコキャンはやりたいことができる学生生活最後の挑戦。一緒に挑戦しよう！

竹内 社会人になって役立つ経験を一足先にエコキャンで身につけられます！大きな財産を持って社会に出よう！

藤本 亜熱帯で島嶼県の沖縄だからこそ環境について学ぶこと、できる経験がいっぱいある。沖縄からアクションを起こそう！



人文社会学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

1 国際法政学科
Department of Law, Politics, and International Relations

2 人間社会学科
Department of Sociology and Human Sciences

3 琉球アジア文化学科
Department of Ryukyuan and Asian Studies



現代社会のニーズに対応し幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指す

人類が経験したことのないスピードで多様な変化が起こっていると言われる一方で、新たなウィルスの蔓延や戦争、人権の侵害が、今もなお世界中で繰り返される今の時代、正解を既存の知識に求めるのではなく、課題解決に向けたその時々最適解はどのように求めることができるのかを考え続け、納得感をもって行動する力が求められます。多様性と独自性をもつ沖縄の地で、人文社会学部の教職員が一同となって提供する平和・共生・沖縄理解をキーワードとした様々な学びを通して、その力をつけていきませんか。



人文社会学部長
本村 真





Department of Law, Politics, and International Relations

国際法政学科

法と政治、国際関係の「知」から日本・国際社会を考察、俯瞰する

求める学生像

Admission Policy

人間社会や社会諸科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲をもった人を求めています。

■一般選抜(前期日程)

全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもつために必要な、論理的思考力と外国語能力を十分に身に付けている人を求めています。

■一般選抜(後期日程)

社会科学を学ぶための基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもち、それらを論理的に説明できる人を求めています。

■学校推薦型選抜II(大学入学共通テストを課す)

人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲をもった人を求めています。

全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識をもち、それら対話や文書で論理的に説明できる人を求めています。

研究分野

法学プログラム

- | 刑法 | 民法
- | 行政法 | 社会保障法
- | 労働法 | 民事手続法

政治・国際関係学プログラム

- | 比較政治学 | 政治過程論
- | 日本政治外交史
- | 行政学 | 国際関係学
- | 国際社会学 | 国際政治学



Department of Sociology and Human Sciences

人間社会学科

人間の考察を中心に、諸問題の解決策を多角的視点から立案できる人材へ

求める学生像

Admission Policy

大学での学びの土台となる基礎学力をもち、多面的な観点から物事を考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人

思想・心・社会に強い関心をもち、よりよい生き方・市民社会の発展・生活問題の解決に貢献したいと思う人

すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

研究分野

哲学プログラム

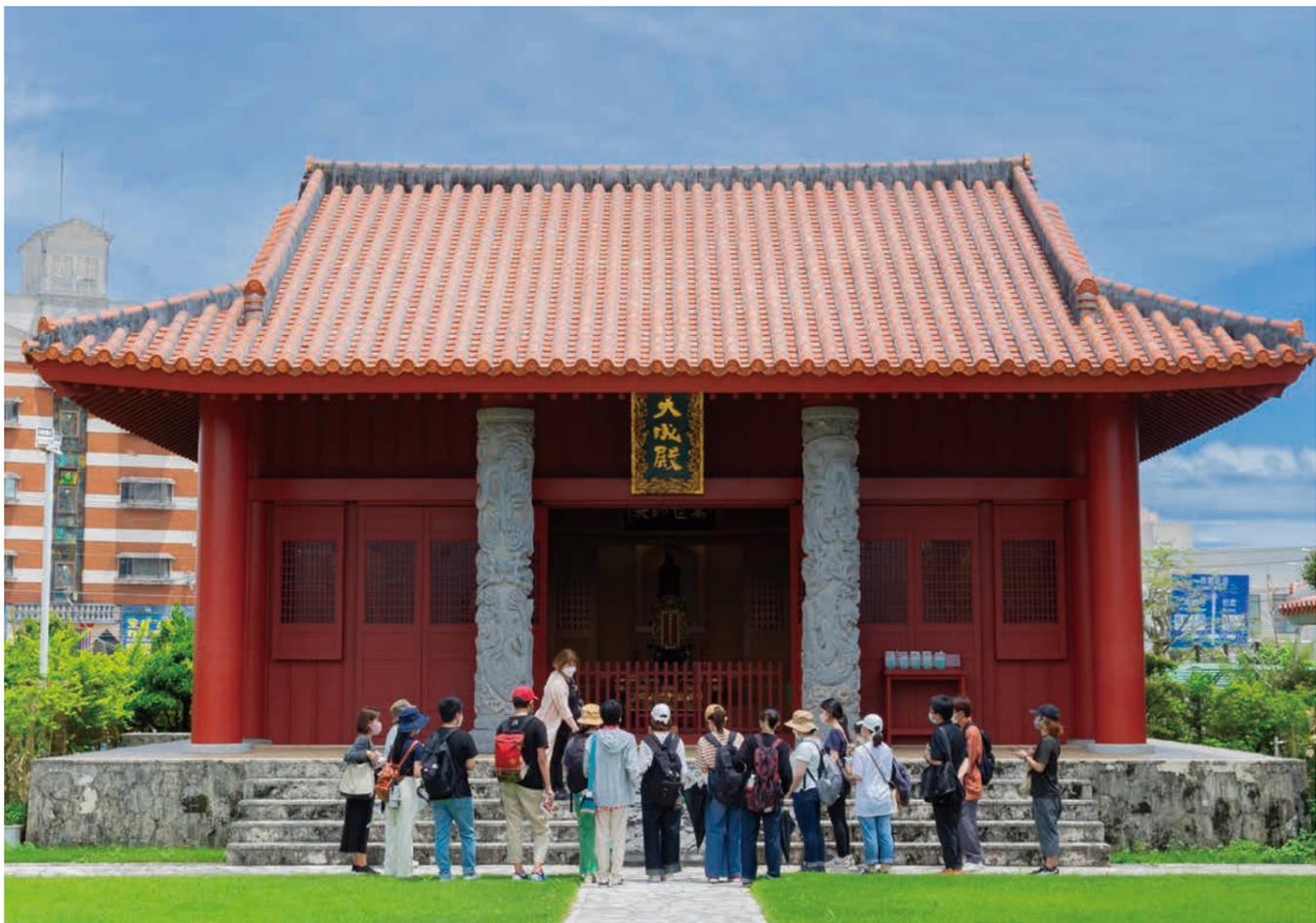
- | 哲学 | 倫理学

心理学プログラム

- | 臨床心理学 | 社会心理学

社会学プログラム

- | 社会学 | 国際社会学
- | 社会福祉学 | 地域福祉学
- | マスコミ学 | ジャーナリズム



Department of Ryukyuan and Asian Studies

琉球アジア文化学科

琉球・日本・アジアの言語や文化・歴史を学究し専門的知識を深める

求める学生像

Admission Policy

研究対象である琉球アジア言語文化圏(沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島)の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる人を歓迎します。

具体的には、下記の観点を持った人材を求めます

- 専攻分野への強い関心、関連する資料・情報の収集に対する意欲
- 収集した資料や情報の整理・分析をとおして独自の視点から意見をもちうる能力
- 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表ができる技能習得への強い意欲
- 他者との議論や意見交換をとおして多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢



琉球アジア文化の最新情報はコチラから

研究分野

歴史・民俗学プログラム

| 琉球史学 | 中琉関係史学
| 沖縄近現代史学 | 琉球民俗学

文学プログラム

| 日本文学
| 琉球文学 | 中国文学
| 朝鮮文学

言語学プログラム

| 日本語学 | 中国語学
| 琉球語学

琉大 VOICE!

卒業生・在校生インタビュー



誰もが気軽に社会課題にアプローチできる未来を作りたい

人文社会学部人間社会学科 令和3年度卒業
株式会社ボードレス・ジャパン 福岡オフィス勤務
崎濱花鈴(さきはまかりん)さん

子供の教育・貧困問題に興味を抱き、琉大へ。現在、ソーシャルビジネスを通じて社会問題解決に取り組む会社で起業を目指す卒業生にインタビュー。

で生まれ育った私たちでも気づかない視点を教えてくださって、ものすごく勉強になりました。

琉球大学の人文社会学部を選んだ理由は?

英語の教師になるのが夢で、もともとは私立大学で英語を学びたかったんですが、うちは一人親家庭なので、高校時代、留学するにも費用を自分のバイトでまかなう必要がありました。そのときの大変な経験から、私立大学の学費を工面するのは難しいだろうな、と。自分が本当に進みたい学校を諦めなくてはいけない。生まれ育った環境によって得られる機会に格差がある現実を身をもって知り、不満や疑問を抱くようになりました。それを機に教育格差や子供の貧困問題に興味湧き、調べていくうち辿り着いたのが人文社会学部人間社会学科の長谷川裕先生が書かれた論文。この先生のもとで学びたい。その一心で琉大を選びました。

在学時に始めた「Okaraokara」の活動について教えてください。

これまで教育と貧困の勉強しかしてこなかった中で、世の中のビジネスの仕組みが何もわからない自分がいざ教員になれたとして、子供たちに何を教えてあげられるんだろう?と。それで、社会課題解決のビジネスモデルを提案するコンテスト「Hult Prize」に参加を決めた際、出会ったのがおからロス問題でした。活用が難しいおからの処理には多額のコストがかかり、豆腐屋さんの負担になっている。この問題を広く知ってもらおうと、「Okaraokara」を立ち上げ、おからスプーンの開発を始めたのが3年次の12月のこと。その後、活動を機に高校から講演依頼を頂くようになり、子供たちと交流が生まれたことによって、こういう形の教育もあるんだと気づきました。教員になる夢は捨てられない。でも今は社会起業家として子供たちの可能性を切り拓く仕事をしてみたい。そんな新たなビジョンが生まれ、現在奮闘中です。

実際の授業はいかがでしたか?

社会学の基礎を学んだ1、2年次では、常に社会に対して関心を持つという姿勢が身につきました。教員免許の取得を目指していたので、いじめやスクールカーストなどの問題、子供の心理学を学べたことも大きかったです。3年次には、長谷川先生から沖縄の子供の貧困問題を専門で学ぶように。沖縄

琉大を目指す後輩たちに伝えたいことは?

琉大は副専攻があるので、途中で自分のビジョンが変わっても柔軟に動けると思っています。私も途中で夢をシフトしましたが、在学中にいろいろなことを学びながら自分が本当に実現したい未来を見つけてください。



豆腐文化を守り、沖縄の経済を支えたい!



お豆腐屋さんと二人三脚で課題解決できるソーシャルビジネスを実現するため猛勉強中! そして、どんな環境にある子供たちでも社会課題に気軽にアプローチできる仕組みを作りたい。沖縄が豊かになる未来を笑顔で目指していきたいです。



私の一品!
おからを使って開発した
食べられるスプーン

株式会社社労食と共同開発した「Pacoon」。「Okaraokara」の相棒である同級生、知念杏珠さんと試行錯誤の末、4年次に完成した思い出深い1品! Instagram @okaraokara629

国際地域創造学部

Department of Global and Regional Studies

- 1 観光地域デザインプログラム** (昼間主コース)
Tourism Sciences
- 2 経営プログラム** (昼間主コース・夜間主コース)
Management
- 3 経済学プログラム** (昼間主コース・夜間主コース)
Economics
- 4 国際言語文化プログラム** (昼間主コース・夜間主コース)
Global Languages and Cultures
- 5 地域文化科学プログラム** (昼間主コース)
Geography, History and Anthropology

求める学生像

Admission Policy

- ① 地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味をもち、主体性をもって課題に取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見を交換しつつ実行することができる人。
- ② 現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心をもち、自らの感性と経験を通して他者や社会と関わり、得られた知見を社会全般に還元する態度を備えている人。
- ③ 21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲をもち、他者や異文化のもつ多様な価値観に対して柔軟な態度を身に付けている人。

グローバル×ローカル

様々な視点を融合させて実践的な知の掛け算を

国際地域創造学部は、グローバルとローカルを併せ持つ学部です。地域のもつ独自性とその中に潜む人類の普遍性について、多面的な学びを本学部は提供しています。様々な地球規模の課題に直面している今、逆境の中でも逞しく生き抜くための知識・知恵・外国語能力がますます必要になっています。大学での自由な4年間でそのような知識やスキルの修得に費やし、いい人間関係を築いていきたいと思う皆さんの入学を心待ちにしています。



国際地域創造
学部長
吉本 靖





Tourism Sciences

観光地域デザインプログラム

観光と地域について探究し、
社会で創造的に活躍する人材を育成する

本プログラムは、グローバル化が進展する中、持続可能な開発に資する人材、高い学士力を身に付け現代社会で創造的に活躍できる人材を育成することを目的とします。

観光地域デザインプログラムとは、ビジネス、政策、資源管理、地域開発など様々な領域から学際的に「観光」「地域」「観光と地域の関係」、あるいはそれらの成り立ちや振興を考える学問領域です。本プログラムでは、サステナブルツーリズム(持続可能な観光)のコンセプトを基盤に、「観光ビジネス&ウェルネス」「観光地開発」「地域資源マネジメント」を核とした専門科目を提供し、上述の成り立ちや振興を探究していきます。



研究分野

- | 社会医学・ヘルスツーリズム
- | 観光社会学・農村社会学・地域社会学
- | 観光経済・統計学
- | 景観計画論
- | 保全生態学・生物人類学
- | 地域・環境教育論
- | 観光経営学
- | 観光心理学
- | 旅行者行動論



Management

経営プログラム

「経営」の学びを通して、目標に向かって
積極的に行動できる人材を育てる

「経営」と言うと、会社の社長さんや部長さんの仕事で自分とは関係ないことだと思いませんか？

確かに「経営」とは会社という組織を仕切る仕事を指す場合が多いかもしれませんが、「経営」という言葉の意味はとてもシンプルです。それは、「目的を達成するために、継続計画的に意思決定を行い、実行に移す(大辞泉より引用)」ということです。こう考えると、「経営」という言葉の距離がかなり近くなったのではないのでしょうか？例えば自分の所属するサークルやクラブを強くしたり、人々に注目されるようにするのも経営です。あるいは、将来なりたい自分がいて、それを目指して今からどのような筋道をとればその目標に辿り着けるかを考えるのも経営です。

「経営」の出発点として、まずは目指すべく魅力的な目標を設定することが必要となります。それは自分だけが享受できるメリットを考えることでもあります。そして、目標に向かって進むには、行動に移すためのエネルギーが欠かせません。そのエネルギーとは、自分のやる気、能力、人脈、使える道具や資材、資金、知識、ノウハウなどです。突き進むエネルギーを無駄なく運用することのできる人材になって下さい。

研究分野

- | マーケティング論
- | 経営組織論・メディアダイナミクス
- | ファイナンス論、財務管理論
- | 流通システム論
- | キャリア論、組織行動論、サービスマネジメント論
- | 経営戦略論 | 人的資源管理論
- | 財務会計 | 持続可能な観光開発
- | 会計学 | 管理会計論
- | 中小・ベンチャー企業論
- | 技術経営 | 知識経営
- | 消費者行動論 | 市場調査論



Economics

経済学プログラム

経済について幅広く学び、
経済学の視点から社会の現状を捉え、解決する力を

ビッグデータ、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)といった新しい技術が次々と生み出され、社会は刻一刻と変化し、人々の生活にも大きな影響を及ぼしています。こうした技術が生み出される源は何なのでしょう？社会は今後、どのように変化していくのでしょうか？そうした中で、私たちはどのように行動していけばいいのでしょうか？

経済学を学ぶことで、社会の現状を理解し、その変化の方向を予測し、そこから得られた知見をもとに判断し行動することができます。経済学プログラムでは、基礎的な内容から応用理論に至るまで、歴史(経済史)や政策(社会政策、経済政策)も踏まえながら、経済について幅広く学ぶことのできるカリキュラムを提供しています。また、データを活用した統計分析(計量経済)、社会に出た上で、役立つスキルや実践力の習得(実践経済学)にも力を入れています。経済学の視点から社会を捉えることで、社会の仕組みを理解し、地域の抱える問題点を見出し、適切な解決策を提案できるような、そんな人材を目指しませんか。

研究分野

- | 金融論
- | 経済政策
- | 財政学
- | ミクロ経済学
- | 計量経済学
- | 社会政策
- | 国際経済学
- | 開発経済学
- | 日本経済史
- | マクロ経済学
- | データサイエンス、社会・経済物理学
- | 西洋経済史



Global Languages and Cultures

国際言語文化プログラム

言語、文学、文化の専門的な授業と、
高度な外国語運用能力の養成を目指す

国際言語文化プログラムは、英米、ドイツ、フランス、スペイン語圏の言語、文学、文化を包括的かつ専門的に学びたい学生や、日本語や日本事情について学びたい外国人留学生のためのプログラムです。

本プログラムの学生は、言語、文学、文化の専門的な授業や、ネイティブ・スピーカーの先生による授業、留学生との交流、そして英語圏やヨーロッパでの研修などを通して、高度な外国語運用能力の養成をめざします。英語には、昼間主コースのほか、社会人や働く学生も学ぶことができる夜間主コースもあります。また、本プログラムは、沖縄で唯一、ドイツ・フランス・スペイン語圏の言語、文学、文化について専門的に学ぶことができるプログラムでもあります。

自分の選んだ言語の習得を通して、その文化や社会を深く知り、世界の人々と自由自在に対話する力を習得できたら、それまで遠いと思っていた「世界」は案外あなたの身近にあることを実感できるでしょう。

研究分野

- | アメリカ文学・文化
- | ジェンダー研究
- | 英文学・イギリス文化 | 言語学・英語学
- | 社会言語学・言語政策 | 形式意味論
- | 琉球語 | 応用言語学・第2言語習得論
- | 英語教育学 | コミュニケーション学
- | 異文化コミュニケーション
- | 非言語コミュニケーション | 談話研究
- | ドイツ文化・歴史 | ドイツ語学・教授法
- | ドイツ文学・音楽・芸術
- | フランス文学・文化
- | フランス語学・教授法 | スペイン文学
- | スペイン語圏歴史・文化・社会
- | ヨーロッパ研究・EU研究
- | 日本語学・日本語教育学
- | 日本文化 | 国際事情



Geography, History and Anthropology

地域文化科学プログラム

資料解説やフィールドワークを通して、「地域」や「文化」について総合的に学ぶ

地域文化科学プログラムでは「人間」について、空間、時間、文化とのかかわりから学ぶことができます。ただし、単なる理論だけでなく、古文書や画像などの史料解説を通して、さらに巡検や現地調査・発掘、聞き取り、参与観察などのフィールドワークを通して学べるプログラムです。またGISなどの地図に関するスキルも身につけることができます。

本プログラムは、複雑・緊密化する世界を地理学、歴史学、人類学の最新の研究成果をもとに、総合的に理解することを目指しています。史料に親しみ、フィールドに出かけ、人類が培った我々へのメッセージ、現代に生きる人々の多様な暮らし方、さらにそれらが置かれた環境などについて考えていきませんか。

研究分野

- | 人文地理学
- | 自然地理学
- | 日本近世史
- | 東洋史
- | 西洋史
- | 考古学
- | 民俗学
- | 社会人類学
- | 歴史教育
- | 博物館学



琉大 VOICE!

卒業生・在校生インタビュー

地球環境の改善に「昆虫食」で貢献したい

国際地域創造学部国際地域創造学科4年次
喜舎場大智(きしゃばたいち)さん



琉球大学で学んだことや思いがけない出会い、驚きの発見など。先輩たちのリアルなキャンパスライフ、ちょこっと聞いてみました!

琉球大学、国際地域創造学部を選んだ理由は?

進路を考えた時、青年海外協力隊の経験があった小学校5・6年生の担任の先生が頭に浮かびました。先生から食事を満足に食べられない同世代の子供たちが海外にいると聞き、大きな衝撃を受けました。先生のように海外で国際的なことを学びたいと思い、国際地域創造学部のある琉大への進学を決めました。

「昆虫食」との出会い?

世界の社会問題を考える琉大の学生団体「Hult Prize at Ryudai(ハルトプライズ)」の活動を通じて、昆虫食を知り、興味を持ちました。エチオピアで大量発生したイナゴが農作物を食い荒らし、農家が収入減になったことを解決するために昆虫食につながったか。まずは「ヨーロッパコオロギ」を取り寄せて食べましたが、噂通りエビやカニに似ておいしかったです。それから昆虫食にハマリ、神戸の食用コオロギの企業でインターンシップを行ったことから、依頼を受けて京都や千葉でイベントを開催したり、沖縄県内の高校

で講演やワークショップを行ったりするように。昆虫食で世界が広がっています。いずれは昆虫食を沖縄の観光に結び付け、東海岸で食用コオロギ養殖の産業を立ち上げたい。西海岸ばかり注目されますが、僕は沖縄本来の素晴らしい自然や精神性は東海岸にこそ残っていると感じています。

琉大で学んで、特によかったと思ったことは?

琉大には学生起業家や、好きなことで地域や社会を動かす活動をしている学生が大勢います。互いに刺激を受けながら、僕も自分らしさを大切にしたい活動ができています。全国的に見ても沖縄、そして琉大はすごく熱い場所だと思いますね。先生方の理解も深く、学生のやりたいことを導いたり、支援してくれる頼もしい存在です。

琉大を目指す後輩たちに伝えたいことは?

「直感を信じて動け!」ですね。入学してから最初の1~2年は出会ったすべてのものに飛び込んでみるのがおすすめ。僕もそうだったけど、そこから本当にやりたいことが見つかるはず。琉大ではさまざまなコミュニティとつながり、いろいろな個性と刺激あって親和していくことをぜひ楽しんでほしいです。

column

昆虫食は“捕まえるところから”始まる!



市販の昆虫食は高価なので自給自足!
大学内の農学部の畑他、オーガニック昆虫は有機栽培のマンゴー農園でGET! 素揚げなどが多く、生食は厳禁!
昆虫網と虫かごは必需品です。
活動はTwitter「南の昆虫児」をチェック!



私の一品!
昆虫食
BugMoの「こおろぎ粉」

インターンシップ先の会社の製品。
お茶づけやサーターアンダギーをよく作ります。
コオロギミートのバーガーも美味!

教育学部

Faculty of Education

1 学校教育教員養成課程 Elementary and Secondary School Teacher Training Program

小学校教育コース

中学校教育コース

特別支援教育コース



子どもに寄り添い
学びと育ちを支える力を総合的に身につける

教育学部は、高等教育機関であると同時に教員養成機関です。高等教育機関としては学士(教育学)という学位を取得する教育課程を編成し、教員養成機関としては小学校教諭および中学校教諭の一種免許を取得可能な教職課程を中心に編成しています。学士にふさわしい知識や思考力・判断力・表現力等を修得しながら、それを踏まえた学校教員・教師としてのスキルとハートを培っていく、その意欲を有する皆さんの入学をお待ちしています。



教育学部長
萩野 敦子





① みんなの意見を引き出す
 ② みんなの意見をまとめる
 ③ なぜその意見が出たのか聞いて
 ④ みんなが話しやすい空気に
 ⑤ 時間配分を意識する



Elementary and Secondary School Teacher Training Program

学校教育教員養成課程

学校が抱える教育の多様な課題に向き合い、柔軟かつ力強く対応する専門家の養成に向けて

求める学生像 Admission Policy

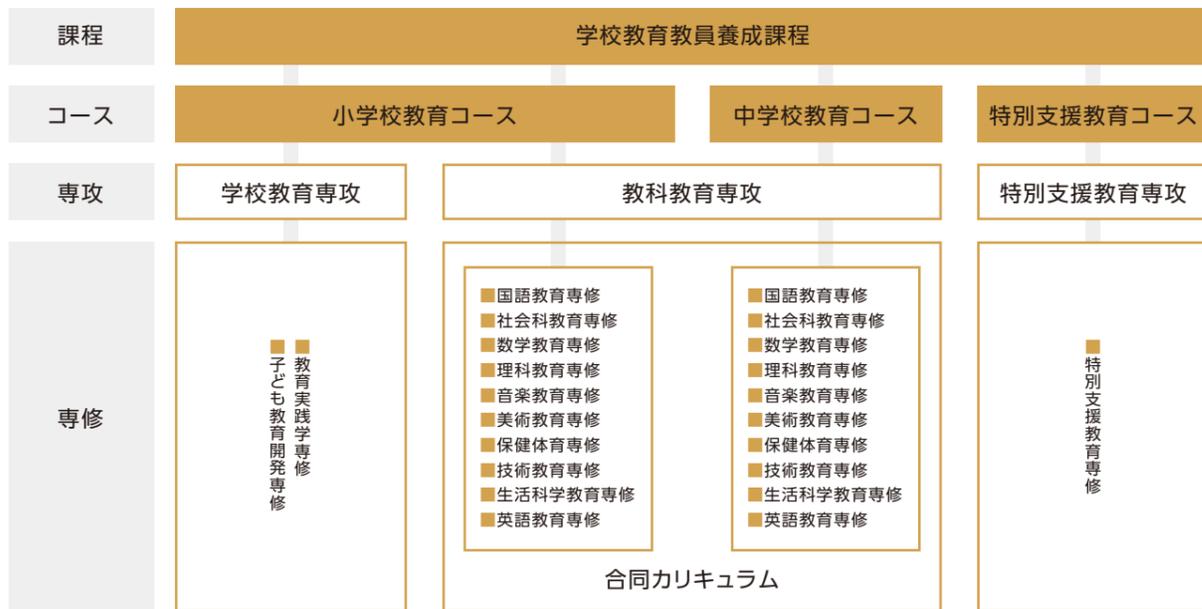
本学部は、1課程(学校教育教員養成課程)3コース(小学校教育コース・中学校教育コース・特別支援教育コース)から成ります。学校教育教員養成課程では教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、次のような人材を求めています。

- 教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきいたい人
- 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- 高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人
- 沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人

4年間の学び

これらは教育学部で学べる科目のほんの一例です。ここに書かれている以外にも、各専修からさまざまな科目が提供されています。

教育について多角的に学べる科目	小学校教員になるための科目	中学・高校教員になるための科目	子どもを知るための科目	教職実践系の科目
<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職入門 ■ 教育原理 ■ 教育課程 ■ 教育方法 ■ 教育心理学 ■ 特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援 ■ 総合的な学習の時間の授業づくり ■ 教育におけるICT活用 ■ 特別活動論 ■ 生徒指導論 ■ 教育相談 ■ 学校カウンセリング ■ 道徳教育の理論と実践 ■ 教育社会学 ■ 学校社会学 ■ 離島へき地教育概論 ■ 子どもと多言語・多文化教育 ■ 新聞活用講座 ■ 平和教育学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国語概説 ■ 初等国語科教育法 ■ 社会科要説 ■ 初等社会科教育法 ■ 数学概論 ■ 初等算数科教育法 ■ 自然科学概論 ■ 初等理科教育法 ■ 音楽 ■ 音楽科教育法(小・中) ■ 小専美術 ■ 図工科教育法(小・中) ■ 体育 ■ 初等体育科教育法 ■ 家庭 ■ 家庭科教育法(小・中) ■ 外国語 ■ 初等外国語教育法 ■ 生活科教育概論 ■ 初等生活科教育法 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国語科教育法 ■ 日本文学概論 ■ 社会科教育法 ■ 日本史概論 ■ 数学科教育法 ■ 代数学序論 ■ 理科教育法 ■ 物理学実験 ■ 音楽科教育法(中・高) ■ 音楽理論基礎 ■ 美術科教育法(中・高) ■ 美術理論・美術史基礎 ■ 保健体育科教育法 ■ 生理学・運動生理学 ■ 技術科教育法 ■ 基礎製図 ■ 家庭科教育法(中・高) ■ 食物学 ■ 英語科教育法 ■ 英米文化概論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの世界・学びの世界 ■ 理解と表現の基礎的スキル ■ 小学校教育フィールドワーク ■ 小学校教育研究法 ■ 子どものからだ動き ■ 子どもと生活のなかのこぼれ ■ 乳幼児教育学 ■ 子どもと自然体験活動 ■ 子ども読書論 ■ 特別支援教育概説 ■ 知的障害者の心理・生理・病理 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職体験I ■ 教職体験II ■ 介護等体験指導 ■ 学校教育実践研究 ■ 小学校教育実習 ■ 中学校教育実習 ■ 特別支援学校教育実習 ■ 幼稚園教育実習 ■ 高等学校教育実習 ■ 教職実践演習 ■ 教育実践フィールドワーク ■ 教職インターンシップ ■ 模擬授業



小学校教育コース 中学校教育コース 特別支援教育コース

小学校教育コース	中学校教育コース	特別支援教育コース
<p>学校教育専攻 教育実践学専修</p> <p>実践と理論を往還的に学ぶ機会を繰り返し提供し、そこで得た学修の成果を子ども一人一人に対応還元できる指導力にまで高め、児童の豊かな「学び」の創造に結びつけていきます。</p>	<p>学校教育専攻 子ども教育開発専修</p> <p>学校に留まらず家庭や地域など「場所」での子どもとの関わりから自己を問う体験を通し子どもの専門的理解をめざします。子どもたちの生活世界の中にある学校づくりを支える教育実践を創出します。</p>	<p>教科教育専攻 各教科教育専修</p> <p>実践的指導力(授業力)の支えとなる教材への解釈力と教材からの展開力を、専門系・教育学系修のスパイラルにより身につけます。また、実際の授業現場を観察・経験する機会を多く提供します。</p>
<p>教科教育専攻 各教科教育専修</p> <p>小・中学校を見通し、探求する喜びを育む「学び」を構想できるよう専門性を高め、多くの現場体験を通して発達段階や生活環境など諸問題への認識と、教科の壁を越え同僚と協働できる姿勢を習得します。</p>	<p>特別支援教育専攻 特別支援教育専修</p> <p>特別支援教育に関する基礎的・基本的知識を身につけるとともに、少人数の演習形式の授業やボランティア活動により、一人ひとりの事情に即した臨床的な実践力を獲得します。</p>	

理学部

Faculty of Science

1 数理科学科
Department of Mathematical Sciences

2 物質地球科学科
Department of Physics and Earth Sciences

物理系
地球環境系

3 海洋自然科学科
Department of Chemistry, Biology and Marine Science

化学系
生物系

探求心をもって自然の真理を解き明かそう

理学部では、数学、物理学、地学、化学、生物学を基盤とした基礎科学から、立地を活かした熱帯・亜熱帯地域に関する地球環境科学や生物多様性を学ぶことができます。また、地域の課題解決や国際的な環境での教育研究を通じて、人材育成に力を注いでいます。理学部では、学生一人ひとりが自分の専門分野で深く学び、社会で活躍するための力を身につけることを目指しています。理学部で未来を切り拓く力を身につけませんか。



理学部長
新垣 雄光





また、数理科学科では中学校や高校の数学教員の養成も目標のひとつにしており、生徒が抱きがちな「なぜ数学を学ぶのか?」という疑問に向きあい、答えることができる教育理論の修得にも注力しています。



Department of Mathematical Sciences

数理科学科

現代社会を支える情報・科学技術の発展を担う
数学の専門家を養成するための教育を展開

求める学生像

Admission Policy

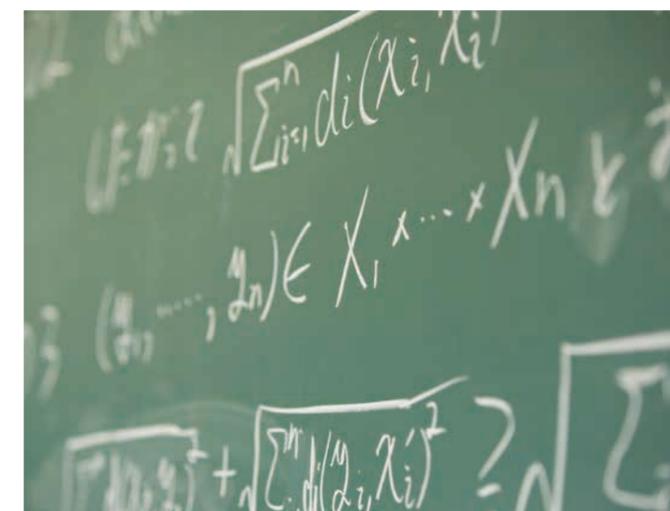
数理科学科では教育理念に基づいて、次のような人を求めています。

- 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人
- 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人
- 強い勉学意欲をもち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人

研究分野

- | 代数幾何学 | 位相幾何学
- | 作用素環論 | 確率論 | 関数解析学
- | 特殊関数論 | 表現論 | 数理統計学
- | 整数論 | 双曲幾何学 | 大域解析学
- | 暗号理論 | 組合せ論

高校で学ぶ三角関数や微分積分は医療機器であるCTスキャンに応用されています。インターネットの暗号通信には整数論や符号理論が使われています。確率論は経済学に応用され、保険数理人(アクチュアリー)になるには統計や確率の学修が必須です。このように、現代社会を支える情報・科学技術の運用には「大学で数学を修めた人材」が必要不可欠とされており、数理科学科ではコンピュータ関連をふくむ広範囲な分野の数学が学べるようになっています。





Department of Physics and Earth Sciences

物質地球科学科

物質・素粒子・宇宙から大気圏・水圏・岩石圏まで、
物理系と地球環境系の各分野に広がる専門学修

求める学生像

Admission Policy

物理系

物理系では教育理念・目的に基づいて、次のような人を求めています。

- 基礎学力を備え、科学的な好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人
- 科学的な基礎知識や思考法を学び、それらを社会人として生かしたい人
- 物理系の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨く人

研究分野

| 物性理論 | 宇宙物理学
| 素粒子論 | 数理物理学
| 固体物理 | 凝縮系物理

地球環境系

地球環境系では地球と海洋に関する自然現象に興味をもち、意欲的に地球科学の知識を身に付け、探究心に富む人を求めています。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めます。

研究分野

| 海洋物理学
| 海洋微生物学 | 気象学
| 海洋環境地学
| 岩石鉱物学 | 地震学
| 古生物学

※地学系は2024年度から地球環境系へ名称変更します。



物理系

物理学には物質の電氣的、磁氣的、光学的な性質などを研究する物性物理学、素粒子とその運動法則を探求する素粒子物理学、宇宙を対象とする宇宙物理学などの分野があります。物理系ではそういった分野の基礎が学べる科目を配置し、物理学を体系的に理解していきます。



地球環境系

上空の大気圏、海洋を主とした水圏、地上・地下の岩石圏、これらでの現象について、地質学・物理学・化学・生物学などの手法を用いて研究します。また、海に囲まれた亜熱帯島嶼という沖縄の特性を活かし、琉球島弧や周辺の海底の地質とその成り立ち、火山・地震の活動、サンゴ礁海域の地学的環境問題、黒潮、亜熱帯気象、台風などが研究できるのも特色のひとつです。



Department of Chemistry, Biology and Marine Science

海洋自然科学科

亜熱帯島嶼・海洋地域の特性を活かした教育により、
人と自然の共生に寄与する人材を育む

求める学生像

Admission Policy

化学系

化学系では琉球大学の求める学生像に従い、自然を化学の目を通して見ることに興味を持ち、本系が提供する教育カリキュラムで修得した知識や技術等を社会に還元し、学術研究の後継者、産業界をリードする技術者及び化学の教育を担う教師のみならず教育界のリーダー的存在となる人材を求めています。したがって、化学系では次のような資質を持った人を求めています。

- 物質や自然環境の成り立ちについて興味を持っている人
- 化学を学ぶための基礎知識を備えた人
- 修得した化学の知識や技術等を社会に役立てたい人

■一般選抜

上記の基本方針に基づき、基礎的な学力と思考力を備え、琉球大学で学ぶ強い意志を有し、本系で修得した知識や技術等を社会の役に立てたいという意欲のある人を求めています。

■学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)

上記の基本方針に基づき、一般選抜と同等の基礎学力を有し、自然を探究することに意欲的な人を求めています。

生物系

生物系では、地域国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境がもつ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究を行っています。こうした理念のもと、生物系では次のような人を求めます。

- 多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味をもち、深く学びたいという意欲のある人
- 自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人
- 生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人

学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)では、これらに加えて、海洋の生物資源にも興味のある人を求めています。

化学系

物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、海洋化学を学び、多様な物質の反応や構造、機能を分子科学的に学びます。また、物質の物性や構造、水素エネルギー、化学センサー、新規物質の創成に関する基礎研究、越境物質の大気化学など亜熱帯島嶼・海洋の地域特性を活かした研究を行います。

研究分野

| 錯体化学 | 水素貯蔵材料化学 | 海洋天然物化学 | 界面化学
| 分析化学 | 環境化学 | 地球化学 | 物理化学 | 有機化学
| 光化学・有機物理化学 | 無機化学 | 有機合成化学 | 有機金属化学
| 機能材料化学・電気化学 | 天然物化学 | 海洋無機化学

生物系

琉球列島の自然環境を活かし、多様な生命現象と基本原理の理解をもって、さまざまな分野で生物学の学識と技能を発揮する人材を育成します。またサンゴ礁・島嶼生態系の包括的な理解と保全をめざした研究を進め、生物多様性と生命現象の基本原理解明に向けた多角的・総合的研究を展開します。

研究分野

| サンゴ礁学・生理生態学・海洋環境学 | 魚類学
| サンゴ礁生物生理学 | 動物生態学 | 植物細胞生物学
| 魚介類分子遺伝生態学 | 植物系統進化学 | 藻類細胞生物学
| 分子生理学 | 植物生態学 | 海洋生態学
| 海洋無脊椎動物学(生態・形態・系統分類学) | 環境生理学
| 藻類学 | 頭足類学・動物行動学 | 進化生態学

医学部

Faculty of Medicine

1 医学科
School of Medicine

2 保健学科
School of Health Sciences

医学と保健学に関する専門知識と技術を習得し
地域医療水準の向上を目指す

沖縄県では、医療の国際性や離島・僻地での医療体制の確保が急務である状況を踏まえて、「沖縄健康医療拠点」を形成する構想が国家戦略として進められています。その構想の核として医学部と病院は2025年初頭に宜野湾市に移転することになりました。本学部では、地域医療、高度先進医療、および国際保健医療を担う人材を育成しています。入学後は沢山勉強しなければなりません、沖縄の素晴らしい自然や文化に触れて息抜きしながら、琉球大学で楽しい学生生活を過ごしてみませんか！



医学部長
筒井 正人





医学部は医学に関する専門の知識と技術を修得すると共に高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応できる医師や研究者を育成することを目的としています。加えて、沖縄県の自然的・地理的、および歴史的な特性をふまえ、島嶼環境における地域完結型医療の構築に努めます。また、国際性豊かな医学部・医学科として、アジアを主とする諸外国・地域との学術交流を通じ、国際医療に寄与することもめざします。あわせて入学試験も通常の「前期・後期」の他、「学校推薦型選抜(地域枠)」と「2年次特別編入学(学士入学5名)」の計3種類を実施、多様な個性が切磋琢磨しあう環境を提供しています。



School of Medicine

医学科

高度な学術能力に豊かな人間性を兼ね備え、
人々から信頼される医師を育む

求める学生像

Admission Policy

■一般選抜

- 地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をもてる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人
- 常に自己点検を行い、自己啓発ができる人
- 創造性に富み物事を理論的に整理・展開できる人
- 医学を学ぶ基礎学力を有する人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

■学校推薦型選抜II(共通テストを課す)(地域枠、離島・北部枠)

- 沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識をもてる人
- 地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人
- 学習意欲の維持並びに自己学習ができる人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶことができる人

1年次

共通教育科目と
専門教育を
並行して学ぶ

共通教育科目と並行して専門教育もスタート。前期は分子細胞生物学など医学の基礎知識・最新医学トピックを学びます。早期体験学習を経て後期は、人体の構造と機能、解剖学実習など基礎医学を学びます。

2年次

なぜ病気になるのか
メカニズムを
理解する

微生物・免疫学、薬理学などの基礎医学講義・実習を通じ病気が発生するメカニズムを学びます。後期には臓器別・部位別の臨床講義が始まります。医学外国語では論文情報収集・解析法を学びます。

3年次

医学全体を
俯瞰できる力を
養う

3年次は、臨床医学系講義に加え、離島地域病院実習と12月から基礎教室を中心とした医科学研究に取り組みます。教室で国内外の研究室の紹介を受け、医学研究を深める制度も用意しています。

4年次

臨床実習のための
共用試験に挑む

前期は臨床推論、基本的臨床手技を学びます。衛生学・公衆衛生学など医療学総論を受け、臨床実習実施前に標準評価試験として共用試験を実施します。試験合格者は後期より臨床実習に臨みます。

5・6年次

多様な実習を経て
医師国家試験合格を
目指す

各診療科病院実習、内科などプライマリケアを中心にクリニカルクラークシップに臨み、医師業務に近い実習に参加します。総合試験などに合格し、卒業見込みとなれば医師国家試験を受験します。

- 医学部は基礎系と臨床系の分野が有機的に関連しつつ教育・診療・研究の体制を整え、6年間の一貫教育を行います。
- 4年次1学期までは基礎医学系、臨床医学系の基礎的知識の修得、実験、実習が主となり、4年次2学期から患者さんを対象とした臨床実習を指導します。
- 5年次の総合試験I、6年次の総合試験II、IIIを経て医師国家試験を受験します。これに合格して初めて医師となりますが、2年間は初期臨床研修が義務づけられています。
- その際、各診療科は他の教育関連病院や地域医療施設と協力して卒業生の研修を指導します。
- 研修後、多くは大学病院や他の病院の臨床医として、さらに研鑽を重ねます。医学の知識を活かして医系技官等に進む道もあります。
- また、臨床や生命科学、社会医学の発展をめざして研究に取り組む卒業生も多く、そのために大学院博士課程へ進学するのも選択肢のひとつです。



保健学科は、生命尊重の倫理観、科学的根拠に基づく実践力を有する看護師や臨床検査技師などの保健医療福祉の専門職者、および研究者・教育者の育成を目指しています。保健医療福祉の分野が対象とする国際社会や地域、個人には、多様な歴史背景、価値観、健康に関するニーズがあることから、生命倫理だけでなくこれらの問題にも対応できる人材を養成するための専門的な教育も充実させています。さらに保健医療福祉の専門職者に不可欠な生涯にわたる学習ができるよう、学生の自主性、思考力、探求力、問題解決能力を高める取り組みも行っています。入学試験では「前期・後期」のほか、「学校推薦型選抜」、「帰国生徒」、「私費外国人」の計4種類を実施し、多彩な人材の獲得にも努めています。このように保健学科では、多種多様な学生がお互いを高めあひながら、日々研鑽を積んでいます。



School of Health Sciences

保健学科

入学後に行う看護学か検査技術学のコース選択により、
地域や国際社会に貢献する保健医療福祉の専門職者へ

求める学生像

Admission Policy

本学科は看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野でリーダーシップを発揮し、活躍できる人材の育成を目指します。そのため、以下の資質を備えている人を求めています。

- 生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人
- 生命を尊重し、相手の身になって行動できる人
- 自らの目標に向かって自己啓発し、多様な人々と協働ができる人
- 論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	主に大学の共通教育等科目を履修します。	「看護学コース」と「検査技術学コース」にわかれ、それぞれの専門科目を学修しながら病院、地域、学校などで臨地実習を行います。	3・4年次は各自が興味のある研究室で教員の指導を受けて卒業研究に取り組みます。なお保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師の国家試験受験資格の取得の他、養護教諭や健康食品管理士の養成も行っています。	
共通科目	■生命倫理学や解剖学・組織学、生理学、保健福祉政策論、保健関係法規等を実施。	■疫学、薬理学、免疫学を実施。	■卒業研究に取り組む。	■卒業研究に取り組み、後期の発表後は各自、国家試験の準備を本格化する。要望に応じて、教員による国家試験対策授業を実施。
コース	■第2クォーターに看護学概論、第4クォーターに生活援助看護技術Iおよび生活援助看護技術実習Iを病院で実施。	■症候病態論、小児・母性・成人・高齢期等の看護師に必要な科目を実施。保健師や養護教諭の希望者を対象とする選択科目・教職科目を開始。	■小児・母性・成人・高齢期・精神・在宅看護学、緩和ケア論等の看護師に必要な科目を実施。第4クォーターに在宅・母性看護学臨地実習を実施。	■第1・2クォーターに小児・精神・成人急性期・成人慢性期看護学実習等の看護師に必要な臨地実習を実施。第3・4クォーターに助産師、保健師、養護教諭に必要な臨地実習を実施。
コース		■臨床血液学、臨床検査総論、病態生理学、医用電子工学、保健統計学等の臨床検査技師に必要な科目を実施。 ■食品衛生学など、健康食品管理士希望者を対象とする選択科目を実施。	■臨床微生物学、臨床病態学総論、臨床生理学I-II、保健技術学実習I-II等の臨床検査技師に必要な科目を実施。	

2025年(令和7年)より 琉球大学医学部及び琉球大学病院が 移転します



医学部外観パース(北西側)(令和4年9月時点)

※イメージは設計段階のものであり、今後の進捗により変更になる可能性があります



※県道81号線から見た移転予定地(令和5年2月現在)

琉球大学医学部及び病院は、沖縄健康医療拠点の中核として、令和7年にキャンパス瑞慶覧(西普天間住宅地区跡地)に移転します。

医学部及び病院では、“国際化”、“人材育成”、“先端研究・産業振興”、“医療水準の向上”を移転構想の柱とし、沖縄振興や長寿県沖縄の復活、国際保健(グローバル・ヘルス)への貢献を目指しています。

医学部講義棟・研究棟等完成予想図



講義棟前

研究棟及び管理棟前

※イメージは設計段階のものであり、今後の進捗により変更になる可能性があります

Q1. 千原キャンパスからの距離や交通手段は?

現在のキャンパスから約5.5km北に位置しています。沖縄県の交通事情から、現在のところ自家用車が主な移動手段となりますが、バス停等の整備も予定しており、今後公共交通機関の利用がしやすくなるよう検討しています。



Q2. 敷地の広さはどのくらい? また、どんな施設があるのですか?

敷地は、約15ha。
講義・実習棟、クリニカルシミュレーションセンター、研究棟、図書館分館、研究支援施設、管理棟、がじゅまる会館、先端医学研究センター、病院等の建設を進めています。
また、ヘリポートも整備予定です。



Q3. 新キャンパスにはいつ頃から移転するのですか?(2024年度入学対象者)

現在のところ、2025年4月より新キャンパスへ移転する予定のため、2024年度入学生の場合、2年次から新キャンパスとなります。1年次は主に千原キャンパスを利用しますが、2年次からは主に移転先の新キャンパスを利用することになります。千原キャンパス内にある学寮からは、5km以上の距離があるため、バス又は自家用車、自転車等での通学が想定されます。なお、宜野湾市普天間周辺は住宅街となっており、県道81号線の南側には住宅、アパート等があるので、お住まい探しの参考にしてください。
※現在の移転計画に基づくため、変更となる場合がございます。

Q4. 移転先(宜野湾市普天間)はどんな街ですか?

住宅街やカフェ・レストラン等の飲食店、スーパー、コンビニエンスストア等が集約されています。また、移転予定場所の直ぐ南に県道81号線があり、国道58号線へアクセスしやすいため、北谷町や浦添市への移動も便利です。また、東側は国道330号線に繋がっており、北中城村や沖縄市へアクセスもしやすくなっています。



沖縄健康医療推進基金にご協力をお願いします!

移転に先立ち学生及び皆様へ、より快適で安全な医学教育・研究・診療環境を提供するために、沖縄健康医療推進基金を設立しました。皆様のご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳しくはこちら



工学部

Faculty of Engineering

工学科

School of Engineering

- 1 機械工学コース
Mechanical Engineering Program
- 2 エネルギー環境工学コース
Energy and Environment Program
- 3 電気システム工学コース
Electrical and Systems Engineering Program
- 4 電子情報通信コース
Electronic and Communication Engineering Program
- 5 社会基盤デザインコース
Civil Engineering Program
- 6 建築学コース
Architecture and Building Engineering Program
- 7 知能情報コース
Computer Science and Intelligent Systems Program

南の島のしなやかな工学研究教育拠点

機械、エネルギー環境、電気システム、電子情報通信、社会基盤、建築、知能情報の工学分野における専門性の高い技術者教育を実施しています。不確実性が高く将来予測が困難なこの時代に、成長を継続する持続可能な技術者の育成を行うために、学生と一緒に教職員も組織も成長し続けます。複雑難解な課題を広い視点で柔軟に解決できる思考力とデザイン力、チームで連携しチームで成長するチームワーク力も含めて、琉球大学工学部キャンパスで一緒に身につけていきませんか。



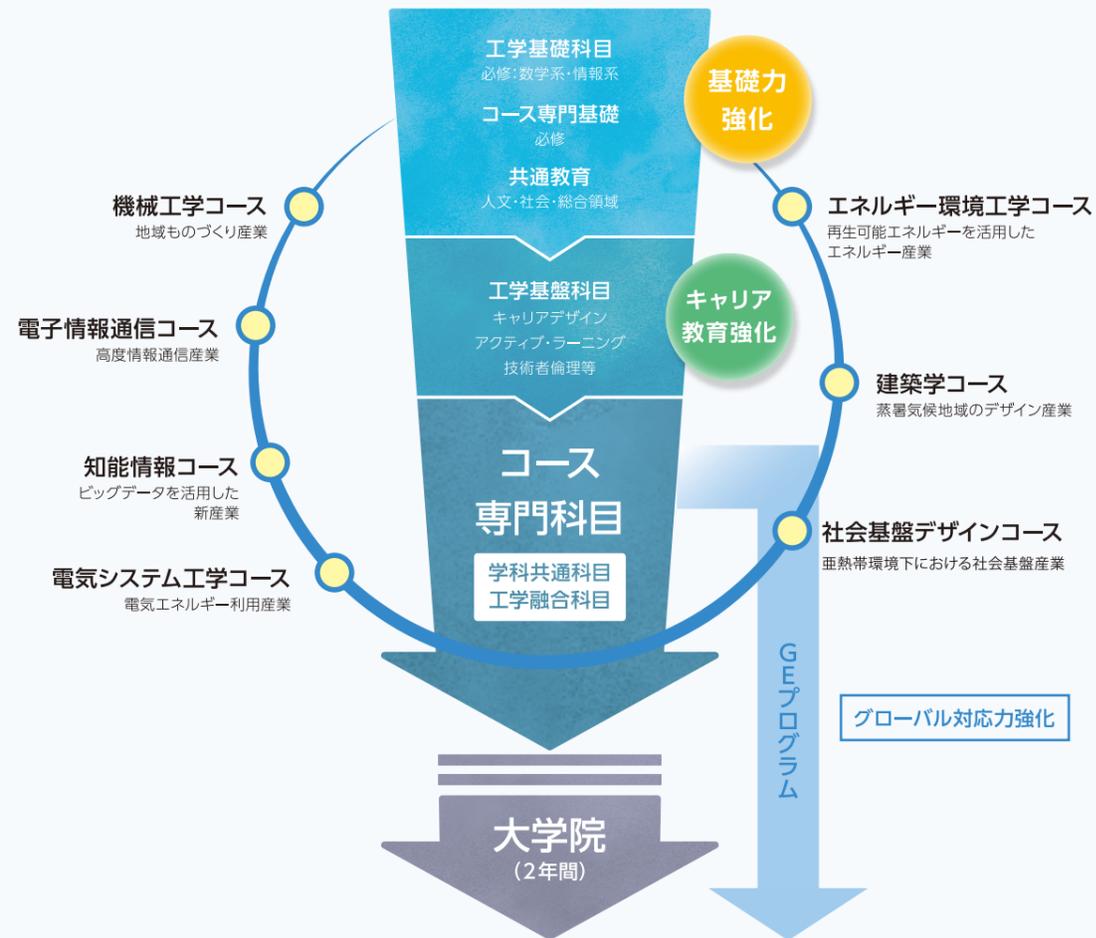
工学部長
名嘉村 盛和



新産業や新たな価値の創造に取り組む7コースと
6年間一貫教育 GE※プログラムを設置
※Global Engineer / グローバルエンジニア

工学科

School of Engineering



強みを活かした人づくりと研究力・開発力強化で
安心・安全で豊かな地域社会の実現をリード

求める学生像

Admission Policy

- 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身に付けた人
- 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身に付けている人
- 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

■一般選抜 (前期日程、後期日程)
十分な基礎学力を有し、特に数学並びに物理に優れている人。

■総合型選抜I (共通テストを課さない)
十分な基礎学力を有するとともに、高いコミュニケーション能力をもち、各コースの専門分野に対する学習意欲が強い人。自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に活動してきた人。

■学校推薦型選抜II (共通テストを課す)
十分な基礎学力を有し、高等学校において優秀な成績を修め、積極的に活動してきた模範的な人。各コースの専門分野への強い向上心を有する人。



Mechanical Engineering Program

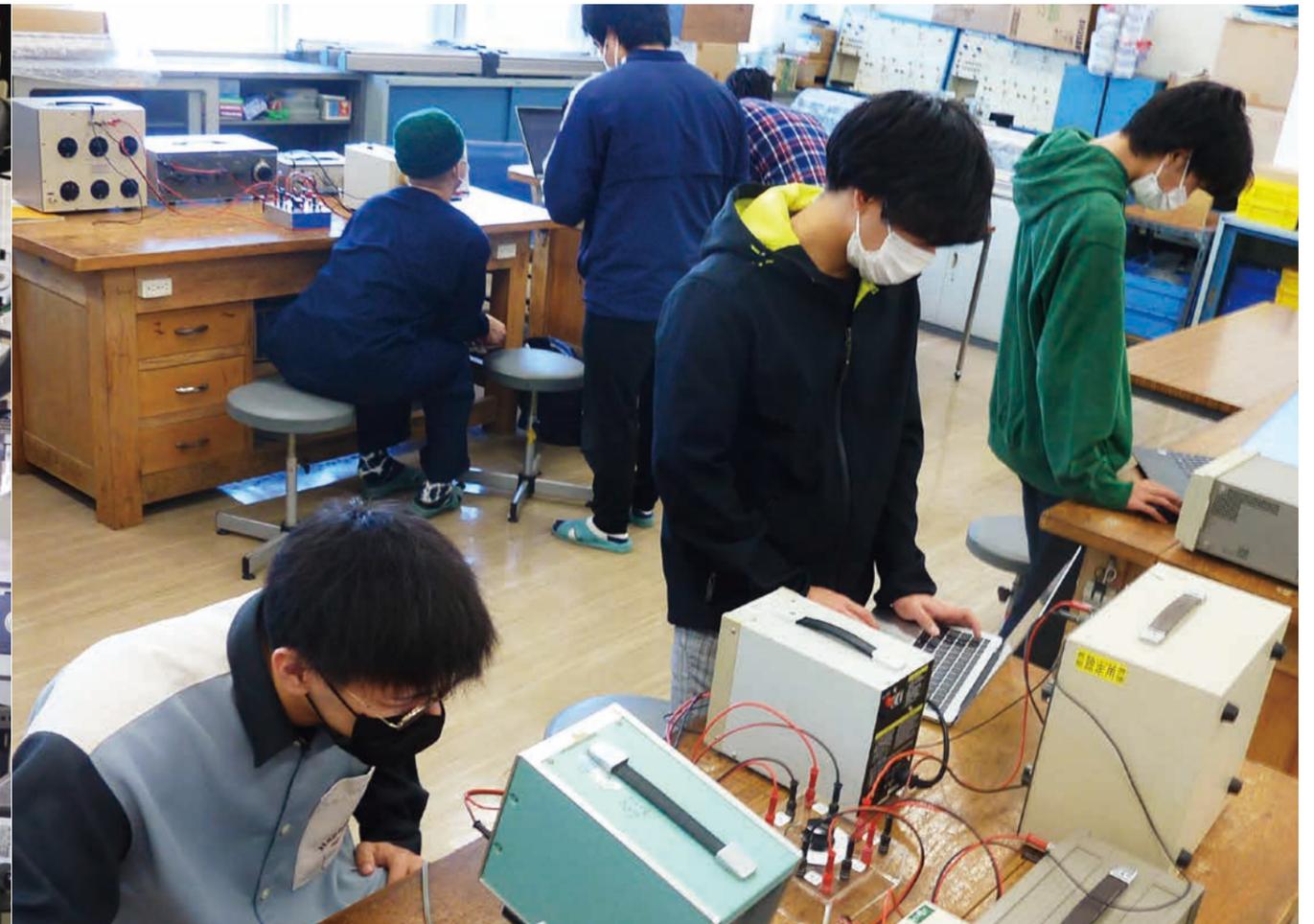
機械工学コース

従来の機械システム工学を学びつつ、
次世代の“ものづくり”におけるスペシャリストを養成

機械工学コースでは、ものづくりに関する科目を初年次から体系的に学んでいくことが可能で、材料力学、機械材料および加工学、流体力学、熱力学、機械制御などの広範囲におよぶ機械工学の基礎を学び、多様な分野への応用ができるようになっていきます。機械工学はあらゆる産業の基幹となり、就職先からのニーズも高く、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。グループワークによる実践的な科目を通じ、コミュニケーション、問題解決、自立した“ものづくり”能力を育むことができます。

研究分野

- | 金属疲労 | 無機材料 | 流体計測
- | バイオディーゼル | 材料の損傷検知
- | 超音速流れ | マイクロバブル | 燃料電池
- | 数値シミュレーション | 衝撃波
- | 熱物質移動工学 | パソコンの冷却
- | ゴムの力学 | ジェットエンジン | 太陽熱利用
- | 知的制御
- | 亜熱帯資源 (バガス、月桃等) を用いた複合材料
- | 数値流体力学 | 海水濃縮技術
- | 自動車の自動操縦 | 乱流制御
- | エネルギーの有効利用 | 海洋ロボット
- | 高分子工学 | 流れの可視化
- | 内燃機関 (エンジン) 工学 | ロボット制御



Energy and Environment Program

エネルギー環境工学コース

さまざまな分野のエネルギー環境問題を
総合マネジメント力で複合的に解決できる知識と技術を学ぶ

エネルギー環境工学コースは、将来のエネルギー供給や環境保全・共生など、私たちが生きていくうえで重要な課題となっている、いわゆるエネルギー環境問題を機械・電気工学という学問によって解決しようとする人材を育成します。
環境に配慮した材料などの専門的知識を駆使し、効率的なエネルギー変換や制御、環境負荷を低減する技術の開発を行い、さまざまな分野での利用へとつなげていける統合マネジメント力とコミュニケーション基礎能力のある技術者にまで成長することをめざします。

研究分野

- | 流動及び熱・物質移動工学 | 材料力学
- | 相転移論 | 数理工学 | 塑性力学 | 制御工学
- | 材料加工学 | 流体工学 | 熱力学
- | ナノ熱流動 | 水素エネルギー
- | 燃料電池 | 海水淡水化



Electrical and Systems Engineering Program

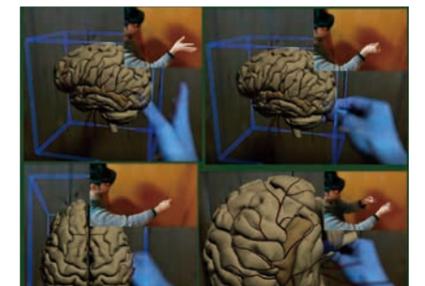
電気システム工学コース

再生可能エネルギーやスマートヘルスケア、
私たちの豊かな暮らしを電気システムでもっと豊かに

電気エネルギーは私たちが暮らす社会では必要不可欠です。しかし今、環境問題解決のために電気エネルギーのあり方を変える技術が求められています。
電気システム工学コースでは、再生可能エネルギー、新電力システム・スマートグリッド、ロボット、スマートヘルスケアなど社会のニーズに応えられる電気工学や工業数学、システム工学の専門知識を学べます。また幅広い教養と語学を習得でき、コミュニケーション能力を育みます。電気主任技術者、電気工事士などの資格取得も可能です。

研究分野

- | 磁気工学 | 電力システム工学
- | プラズマ工学 | 電力工学 | 電気機器工学
- | 制御・システム工学 | ロボティクス
- | 生体医学 | 大気電気学





Electronic and Communication Engineering Program

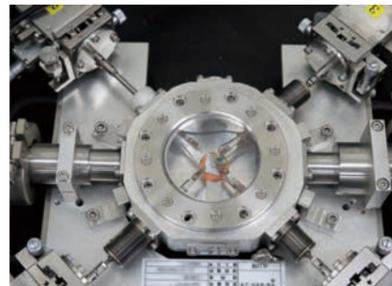
電子情報通信コース

すべての産業基盤となる技術を習得・実践し、
安全・安心・健康で豊かな社会を実現する技術者を育成

電子情報通信コースでは、すべての産業を支える基盤技術である電子情報通信技術について学び、高度な専門知識を身につけ、新たな応用分野を切り拓くことができる人材育成をめざしています。
持続可能な社会を実現するには、発電、組込、計測、高速大容量の情報通信技術等の開発が今まで以上に重要です。また最近では、さまざまな機器がインターネットに接続され、新しい社会変革が始まっています。
当コースでは、これらの技術を幅広く体系的に学べる実践的なカリキュラムを用意しています。

研究分野

- | 無機・有機電子デバイス
- | VLSI設計・組み込み技術
- | 情報通信技術 | 情報処理・解析技術
- | 計測技術 | 光計測工学 | 画像工学
- | コンピュータアーキテクチャ



Civil Engineering Program

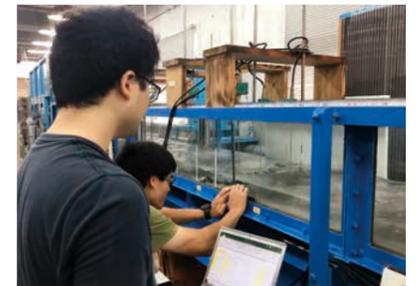
社会基盤デザインコース

自然環境調和型の社会基盤づくりと
環境問題の解決に貢献できる専門技術者を育成

社会基盤デザインコースでは、亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かし、自然環境に調和した空港や道路、橋、鉄軌道など公共交通システムや、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創り、気候の変動や新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源の開発、防災、減災、環境保全などのグローバルな諸問題解決に貢献できる専門技術者を養成します。
持続可能な社会基盤をデザインするために必要な多面的な視点から計画・設計・建設・維持管理までを体系化した専門知識を修得できます。

研究分野

- | 災害リスクマネジメント | 景観計画
- | 海岸工学 | 海洋環境 | 河川工学 | 流体力学
- | 岩盤工学 | 地盤環境工学
- | 鋼構造工学 | 腐食防食 | 維持管理工学
- | 建設材料学 | コンクリート工学 | 計算力学





Architecture and Building Engineering Program

建築学コース

人・社会・自然の共生を図り
国内外で活躍できる建築技術者を育成

建築学は、人間が安全・安心・豊かに生活するための生活空間を築く知識と技術の体系です。自然災害への理解、風雨が建物に与える影響、建築材料の知識、丈夫な建物をつくる技術が必要です。快適な建物を実現するために、人と環境の関係から空気やエネルギーの流れを考慮します。さらに文化的側面や、都市計画まで包括します。
建築学コースでは沖縄の特色ある自然、文化、社会のもとで地域に根差した建築を探索しながらも、普遍的な技術を習得し、国内外で活躍できる建築技術者を養成します。

研究分野

- | 建築デザイン | 建築計画 | 都市計画
- | 地域生活空間 | 環境工学 | 建築設備
- | 建築材料 | 建築施工 | 建築生産
- | 建築構造 | 耐震工学 | 建築防災工学



Computer Science and Intelligent Systems Program

知能情報コース

より良い情報社会実現のために
高度な技術と柔軟な発想力・温かな人間性を備えた人材を育成

「情報通信産業の高度化・多様化」が沖縄県策定の「沖縄21世紀ビジョン」構想実現における大きな原動力として期待されています。
本コースでは、①コンピュータシステム②コンピュータ応用(ロボット・人工知能等)③情報通信の3分野に加え、④データサイエンス(ビッグデータ収集分析等)⑤ネットワークセキュリティという新しい2つの分野の研究環境も充実しています。
世界的競争力のあるイノベーションを創出できる技術者、高い技術力、柔軟な創造力と温かな人格を備えた人材を育成します。

研究分野

- | データサイエンス | 情報メディア工学
- | 人工知能 | 創発知能ロボット工学
- | デジタル通信システム
- | ネットワークシステム情報工学
- | 生体情報システム
- | 複雑系工学 | システム数理
- | ネットワークモデリング・制御 | 並列計算
- | ネットワークセキュリティ
- | ハードウェア記述言語
- | デジタルシステム設計 | 知的信号処理
- | HCI(Human-Computer Interaction)
- | xR | BodySharing

農学部

Faculty of Agriculture

1 亜熱帯地域農学科

Department of Subtropical Agro-Production Sciences

2 亜熱帯農林環境科学科

Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences

3 地域農業工学科

Department of Regional Agricultural Engineering

4 亜熱帯生物資源科学科

Department of Bioscience and Biotechnology



亜熱帯地域に位置する国内唯一の農学部 研究フィールドは目の前に

農学部では日本で唯一、亜熱帯地域に位置するという特性を最大限に活かしながら、「食料・農産物」「環境保全」「エネルギー」「生物資源」さらには「健康の維持増進」に関わる多種多様な課題を対象として教育と研究に意欲的に取り組んでいます。これらの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも大きな役割を果たすことが期待されています。亜熱帯の沖縄でしかできない「農学」、総合科学としての「農学」、そしてグローバルな「農学」に興味や関心のある学生を歓迎します。



農学部長
内藤 重之





Department of Subtropical Agro-Production Sciences

亜熱帯地域農学科

国際的視点から地域の農林水産業の振興を促す人材や農業と地域社会の共生の仕組みが構築できる人材を育成

求める学生像

Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人
- 地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人
- 農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人

農林経済学コース

持続的食料自給システム、都市と山村村との循環型社会、農業政策学、農産物流通学、森林政策学、森林環境経済学、アグリビジネス論、比較林政学、森林経営計画学など。

植物開発学コース

亜熱帯地域に適応した植物育種の展開、未利用植物資源の開発及び持続的生産技術の構築、基礎遺伝学、熱帯果樹園芸学、蔬菜園芸学、鑑賞植物園芸学、植物開発学演習、園芸学実験など。

研究分野

- | 森林政策学 | 森林経済学
- | 農業経済学 | 農業市場学
- | 花卉園芸学 | 蔬菜園芸学
- | 植物育種学 | 家畜栄養学
- | 家畜管理学 | 熱帯植物栽培学
- | 緑地管理学 | 里山環境学
- | 畜産学・草地学 | 森林計画学

循環畜産学コース

家畜生産を通じた地域資源循環型農業、熱帯畜産論、家畜飼料学、家畜環境管理学、家畜行動管理学、家畜衛生管理学実験など。

農林共生学コース

フィールドを活用した動植物生産、人間と動植物の多面的関係を通じた新たな農林共生、緑化修景施工論、園芸福祉学概論、作物栽培環境学、畜産共生技術論、畜産周辺関係学、森林ツーリズム論、森と人間の文化論、森林情報計測学など。



Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences

亜熱帯農林環境科学科

植物と動物の生産や環境に関する分野で活躍する人材、琉球狐や地球レベルの生態系保全に貢献できる人材を育成

求める学生像

Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源・環境の機能や特性の解明に興味を持つ人
- 生物生産と自然環境との調和を目指す人
- 生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人

植物機能学コース

植物の生理・生態的特性を基礎にした効率的な作物生産、地域特有の有用作物の栽培手法とその利用、植物に発生する各種病害(ウイルス、カビ、線虫など)の同定・診断、発生・生態と環境に配慮した各種防除法に関する専門的知識を修得します。

森林環境学コース

森林生態系や都市緑地の保全と持続的な森林資源の利活用、自然環境に配慮した森林造成、環境負荷の少ない循環型林業の実践、森林や都市の樹木の病害防除、自然災害の軽減と流域等のリスク管理に関する専門的知識を修得します。

研究分野

- | 作物学 | 作物生理学
- | 植物病理学 | 植物ウイルス病学
- | 植物線虫学 | 家畜育種学
- | 家畜繁殖学 | 動物機能形態学
- | 家畜ゲノム科学 | 家畜生理学
- | 造林学 | 樹木生理・遺伝育種学
- | 森林生態学 | 森林水文学
- | 総合流域管理 | 森林保護学
- | 生態学・環境学 | 植物栄養学
- | 進化生態学 | 土壌学
- | 保全生物学

動物機能学コース

熱帯・亜熱帯で飼われている動物を対象に、環境との相互作用の視点から動物の遺伝育種・繁殖・生理・形態などの特性解明と技術開発に関する専門的知識を修得します。

生態環境科学

昆虫を主とする野生動物と土壌環境の特性・機能の解明と利用技術に関する専門的知識を修得します。



Department of Regional Agricultural Engineering

地域農業工学科

食糧資源・エネルギー・環境が調和した
持続可能な低炭素型社会の実現をめざして

求める学生像

Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- 豊かな農村空間の創出、確かな農村基盤の整備、防災及び農村環境の保全に関心がある人
- 農と自然との調和に関する工学的探究に興味がある人

バイオシステム工学コース

機械工学や情報工学を応用し、情報・通信・電子技術等のICTを駆使した農業生産システムのスマート化や農産物の鮮度・品質を把握し、流通・加工システムの効率化や情報化を図るとともに、亜熱帯・島嶼環境に適した持続的生産システムと地域の生物資源の有用な開発・管理に関する教育・研究を行います。



地域環境工学コース

「JABEE認定プログラム」*として、国際的な技術者教育の基準に適合した教育を提供します。水・土・大気的基本的な性質の理解を土台に、土木・環境工学を活用して環境調和型の基盤システムや農地を整備し、美しい景観と土砂災害のない安心かつ安全な農村の創成と保全に関する教育・研究を行います。

* JABEE認定プログラム: 日本技術者教育認定機構 (JABEE) の技術者教育における認定基準に適合した学習成果を重視した教育プログラム

研究分野

- | 農業土木学 | 農村計画学
- | 農業水文 | 農業構造学
- | 水利環境学 | 水資源工学
- | 農村環境保全 | 地域防災
- | 農業食料工学
- | 生産システム工学
- | 農業環境工学 | 農業情報工学
- | 農村施設工学 | 農業機械学
- | ポストハーベスト
- | スマート農業



Department of Bioscience and Biotechnology

亜熱帯生物資源科学科

亜熱帯の沖縄は生物資源と食資源の宝箱。
私たちと一緒に宝探しの旅に出よう!

求める学生像

Admission Policy

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。]

- 生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人
- 健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味をもつ人
- 発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人

健康栄養科学コースでは現代社会の抱える様々な健康をめぐる諸問題に向き合い、栄養学と食育を通じて社会発展に寄与する意欲のある次のような人を求めています。

- 栄養学・食育を通じて地域社会の健康の保持増進に貢献したい人

生物機能開発学コース

亜熱帯の生物資源の機能特性を分子から生体レベルで追求し、人類の福祉に有効な機能性素材の開発や利用に関する専門的知識を修得します。

- 研究分野
- | 糖鎖科学 | 多糖類機能化学
 - | 遺伝子工学 | 生物活性物質学

食品機能科学コース

食品の機能性を健康維持、増進の観点から追求し、新たな食品素材を開発すると共に、健康生活の向上に関する専門的知識を修得します。

- 研究分野
- | 栄養生化学 | 食品化学 | 食品機能学
 - | 食品製造・加工学

発酵・生命科学コース

地域特性を生かした発酵食品の開発、ならびに亜熱帯生物資源の生命現象の解析とその応用に関する専門的知識を修得します。

- 研究分野
- | 発酵微生物学 | 応用微生物学 | 微生物利用学
 - | 醸造微生物学 | タンパク質工学

健康栄養科学コース

人間栄養学の観点から食を科学的かつ実践的にとらえ、地域の特性を考慮した健康・長寿社会の実現に関する専門的知識を修得します。

- 研究分野
- | 食品分析学 | 給食管理・食育 | 健康栄養学
 - | 食品学・栄養指導 | 食品成分化学

琉大 VOICE!

卒業生・在校生インタビュー

研究に没頭する 学生時代から 夢を新たに税関職員へ

農学部亜熱帯生物資源科学科 平成31年度卒業
財務省 沖縄地区税関那覇空港税関支署統括監視官(旅具部門)付
大城夏美(おおしろなつみ)さん



研究職に憧れ農学部で学ぶ中、偶然知った税関の仕事に興味を持ち、夢をチェンジ。那覇空港で生き生きと働く卒業生に話を聞きました。

農学部亜熱帯生物資源科学科を選んだ理由は?

高校生のころ、この学科に通っていた姉の友人から話を聞いたのがきっかけです。亜熱帯地域ならではの沖縄特有の植物などを研究していると聞いて、おもしろそう、私もやってみたくて。当時は研究職に就くのが夢でした。

実際の授業はいかがでしたか?

1、2年次の学部共通科目では、農場の雑草抜きや、牛や植物、昆虫の観察をしたり、外に出ることが多く、3年次からは食品機能科学コースで研究が中心となり、4年間すごく楽しかったですね。目的から考察を立て、それが当たっていたのか外れていたのか、自分の実験でわかることが楽しくて達成感のある日々でした。教授の先生方が博識なので、食品について気になることを尋ねると、いつもおもしろい見解を示してくださって。授業以外のそういう会話も楽しかったです。

税関職を目指すことになったきっかけは?

研究をすればするほど、研究職を生涯続けていく難しさを知り、違う夢を探

そうと考えていたころ、友人が税関の説明会に行くというので興味湧いて付いていってみたいんです。話を聞くと、海外から日本に不正薬物などが持ち込まれないよう、水際で止める仕事だと。「カッコいい!」と憧れました。税関を目指すにはまず国家公務員試験合格が必須だと知り、3年次から大学生協主催の「公務員採用試験対策講座」に参加。福岡県の合宿では、同じ公務員を目指す人たちと一緒に学んで、とても刺激になる時間を過ごしました。

大学時代の経験で今の仕事に活かされていることは?

講義や研究などでわからないことがあるとすぐ友人や先生に聞くようにしていました。それが良い結果を生むことが多く、今その諦めない姿勢を大切にしています。お客様の対応がメインの現場仕事なのでとてもやりがいを感じますが、同時に責任も大きい。わからないことを恥じるのではなく、理解できるまで先輩方に聞いて、ミスを防げるよう気を引き締める日々です。

琉大を目指す後輩たちに伝えたいことは?

琉大の農学部は、亜熱帯地域の沖縄でしかできない研究ができるのが魅力だと思います。それから、私は高校2年まで部活に夢中で、3年生で慌てて受験勉強に打ち込んだので、ものすごくキツくて(笑)。そうならないよう、ぜひ勉強は毎日コツコツと。早めから用意をすると学力が身につくという視野が広がり、自分がやりたいことを見つけたときに迷わず進めると思います。

column

日本への密輸を水際で阻止!

初めの2年間はクルーズ船が入港する那覇港で勤務し、現在は那覇空港国際線で海外から入国する旅客の手荷物を検査する仕事に就いています。知識や経験が活かされる現場なので、たくさん学んで実体験して、早く後輩を指導できるまで成長したいです。



私の一品!

完成した卒業論文を提出

親友との記念写真

卒業論文は沖縄野菜ヘチマのGAVAの含有量について。完成が嬉しくて、親友の金城真帆(きんじょうまほ)さんとお祝い撮影した思い出の1枚です。

農場の紹介

亜熱帯フィールド 科学教育研究センター



千原フィールド全景

琉球大学のフィールド(農場)は、農学部附属の亜熱帯フィールド科学教育研究センターが管理しており、主に農学部学生の教育・研究の場となっています。広さはなんと、東京ドーム5.5個分で、千原キャンパスの5分の1を占めています。

また、他大学では農場が離れている場合がありますが、琉球大学のフィールドは農学部本館のすぐ目の前! 学生たちが実験・実習にすぐ取り組めるのも特徴です。



広大なフィールド内は軽トラックで移動



オープンキャンパスではガイドツアーを開催



学生たちが絵を描いた飼育動物たちの顔袋

千原フィールドの教育・研究例

- ・圃場グループ: 熱帯作物の栽培
- ・施設園芸グループ: 施設園芸作物の栽培
- ・畜産グループ: 暖地型牧草の栽培と利用、肉用牛・肉用山羊・肉用豚の飼養管理
- ・広域グループ: 農業機械、暖地型牧草地の管理、堆肥化施設の運用



千原フィールド(農場)の生き物たち



日本在来馬である与那国馬を放牧



農場で産まれた子ヤギは人懐こく甘えん坊



広い野草地でのびのびと暮らす放牧牛



沖縄の在来家畜の代表格である豚も飼育

農学部の学生たちが主体となり、家畜の行動や肥育・牧草生育などフィールドセンターを利用した様々な実験などを行っています。フィールドだけの実験ではなく、生き物の糞便中にある寄生虫駆除や牧草の消化試験など実験室でも様々な研究が行われています。

詳しくはこちらから



亜熱帯フィールド科学教育研究センター

<https://www.agr.u-ryukyu.ac.jp/center-cat/tocenter/>
TEL:098-895-8740



こんな取組もやっています
～包括連携協定～

琉球大学の取組の1つに包括連携協定というものがあります。これは、地域の産業振興や活性化等のために、地方公共団体、産業界等と連携・協力することです。琉球大学の基本理念の一つである「地域・国際社会への貢献」に基づいています。



新垣俊 (あらかしゅん) さん (浦添市出身)
琉球大学 法文学部総合社会システム学科 2020年3月卒
崇城大学工学部 宇宙航空システム工学科専攻
航空操縦学専攻研究生課程修了
2023年1月 日本トランスオーシャン航空株式会社入社

岸本周 (きしもしゅう) さん (浦添市出身)
琉球大学 工学部電気電子工学科 2020年3月卒
崇城大学工学部 宇宙航空システム工学科専攻
航空操縦学専攻研究生課程修了
2023年1月 日本トランスオーシャン航空株式会社入社

「大空を翔る夢」を支援 琉球大学×JTA包括連携協定

琉球大学の全学部を対象に「包括連携協定」を結んでいる日本トランスオーシャン航空株式会社では、2019年2月より「JTA SKY CAMP」をスタートさせました。これは国内外での飛行体験を含む航空業界のインターンシップで、「パイロットになりたい」「航空業界で働きたい」という琉球大学の学生の夢を支援する制度となっています。この制度を利用して、子供の頃からのパイロットの夢を叶えた卒業生も誕生しています。

2020年3月に琉球大学を卒業した新垣俊さんと岸本周さんは、琉球大学在学中に行われた第1回「JTA SKY CAMP」に参加したことで、パイロットの夢の実現に向けて人生が大きく動き出したといいます。さっそくお2人にお話を聞きました。

——パイロットになりたいと思ったのはいつ?どんなきっかけですか?

岸本: 私は3歳ぐらいに初めて飛行機に乗ったんですが、その時の飛行機の窓から見た沖縄の海の美しさに感動しました。今でも鮮明に覚えています。そこから「飛行機っていいな」と思うようになりました。また、母の知人にパイロットをしている方がいて、お話をしたり制服姿を見る機会があって、「超カッコイイ!」と憧れました。

新垣: 私も岸本さんとすごく似ていますね。子供の頃から乗り物全般が好きで、中でも飛行機には特に憧れが強かったんです。沖縄に住んでいると、県外へ旅行をするとしたら陸続きではないので、どうしても飛行機を使うこととなります。その中で搭乗を重ねていくうちに、「こんな大きな飛行機を操縦しているパイロットってどんな人なんだろう」と思うようになり、飛行機やパイロットへの憧れがどんどん強くなっていきました。

——第1回「JTA SKY CAMP」に参加した感想は?

新垣: アリゾナのJALのパイロット訓練所まで行き、実際の訓練生と同じように現地の教官と一緒に軽飛行機の操縦体験を4回もできました。パイロットになるのが夢だったので本当にワクワクしましたね。JTAのパイロットの方もアメリカに同行しているいろいろアドバイスをもらったり、ディスカッションする機会もあって、最高の体験ができました。現地では英語で訓練を受けるので、それには四苦八苦しましたね。

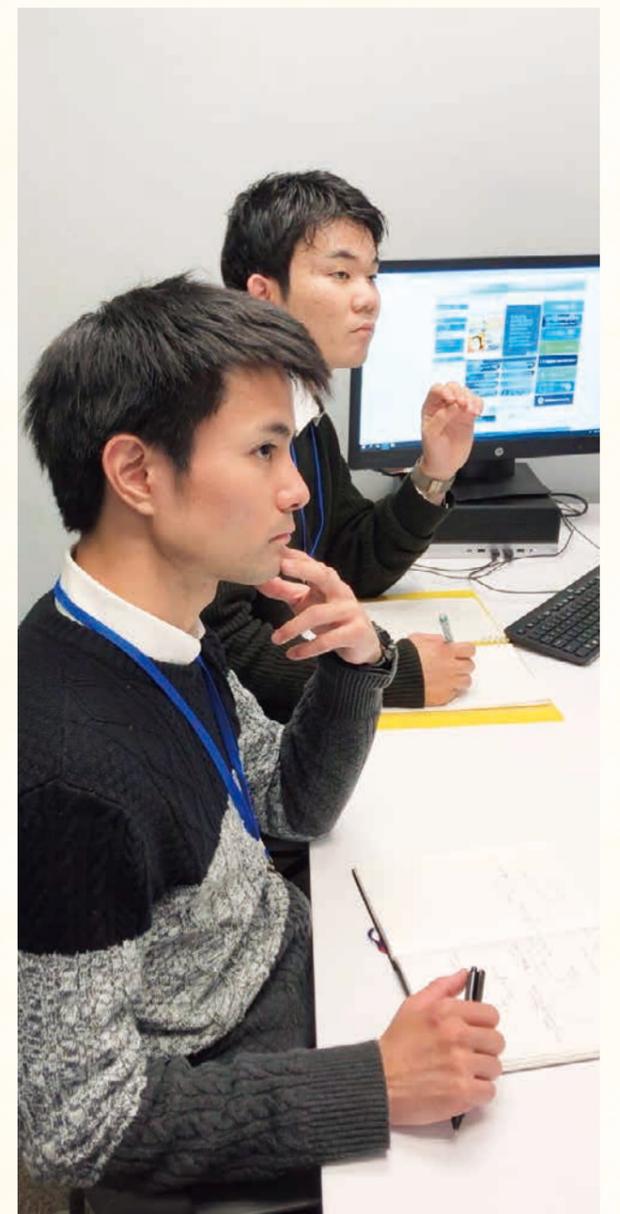
岸本: 私も幼い頃からパイロットになるのが夢だったので、アメリカではとにかくワクワクと興奮が止まらなくて楽しかったです。ただ、実際の空の世界は楽しいだけではなく、厳しさももちろんありました。どちらも肌で感じることはできたのは貴重な体験でした。英語の訓練は大変でしたが、SKY CAMPに参加したことで、パイロットになりたいって気持ちも一層強くなりましたね。

新垣: 琉大に入って良かったと思いました。

岸本: 私も心からそう思いました。2人ともすごい体験ができたよね。

新垣: JTAに入社できたのもSKY CAMPが始まりだったと思います。

岸本: 確かに。ホントそうだね。



——— 琉大卒業後はJTAと協定を結んでいる崇城大学(熊本県)で学びましたね。

印象に残っている講義や訓練などがありますか？

新垣: やっぱり、離着陸に慣れることや、操縦しながらいろいろな作業をしないといけない、操縦だけに集中できないというのがきつかったなと思います。

岸本: そうそう。私も慣れるのは大変でした。私は理系なので計算は得意な方だと思うんですが、実際に上空で行う訓練では、飛行機の操縦に加え、管制官との交信、教官と話しながら地図を見たりなど、複数の作業を同時に、また次々に行うため、到着予定時刻の簡単な計算も間違えてしまったりしました。

最初は琉大で2年学んだら航空大学校へ編入しようと考えていたんです。でもなかなかうまくいかず諦めかけていたのですが、諦めかけていた時に、JTAのSKY CAMPが始まりました。夢のような制度で本当にうれしかったですね。さらに崇城大学で学ぶことができ、大きなチャンスを与えられたと感謝しています。

新垣: 私は編入ではなく、大学卒業の資格を取ってから、航空大学校を受験しようかと考えていました。国内で操縦専攻のある私立大学へ進学する方法もありますが、約2000万円の費用がかかるため、悩んでいたところでした。崇城大学への進学には、JTAと琉球銀行の協定による「パイロット志望学生支援制度」が活用でき、融資が受けられて本当に助かりました。

岸本: JTAに15年以上勤務することで、返済の補助がある制度もありがたいですね。

新垣: 確かに。お互い長くがんばっていきましょう！

岸本: そうですね。



——— 琉大で学んでよかったこと、琉大を目指す後輩たちに伝えたいことは？

新垣: 共通教育の授業で沖縄に関することや、あとは2年生の頃に受けたJTAの寄付講座など、航空関係に関する授業も受けられたので良かったなと思います。ゼミでは、メンバーや先輩後輩、教授といろいろなディベートや経済に関する議論もできましたし、学んでいた経済の統計学を用いて、興味のある航空分野に関する卒論を書けたのもとてもいい経験でした。琉大は挑戦できる選択肢が多いのいいところ。将来の夢が今は決まっていなくてもきっと見つかります。琉大で人生を楽しんでください。

岸本: 元々、理系科目が好きで工学部を選びましたが、数学や物理の知識をパイロット訓練に生かすことができたのはうれしかったです。あとはやっぱりSKY CAMP！在学中に始まったのは本当にラッキーでした。パイロットに少しでも興味がある学生はこの制度をぜひ利用して夢を実現して欲しいです。

——— 現在はどんな業務に携わっていますか？

新垣: 今は地上業務として運航部運航基準グループに属しています。航空機の運航に必要なマニュアルの改定が主な仕事で、公開された情報を分析して、JTAの路線に関係のあるものをピックアップし、それをマニュアルに反映して改訂しています。

岸本: 私は本社の価値創造推進部に配属され、主にJTAのSNSの発信を担当しています。また、サブ担当として機内誌「Coralway」も担当していて、編集部とのやり取りや手続きなども行っています。

新垣: JTAでは、「パイロットも航空会社の一員」との考えから、入社後半年程度は地上勤務を経験してもらうのだそう。パイロットとは違う業務のことを理解できるいい機会だと感じています。

岸本: 本当にそうですね。約800人の社員全員と知り合うことは難しいですが、地上勤務で本当にたくさんの方が業務に関わっていることを感じる事ができ、チームワークの大切さを学んでいます。



——— 2023年7月から、いよいよ副操縦士の訓練が始まります。

どんなパイロットを目指していますか？

新垣: 訓練は厳しいと思いますが、同期みんなで協力して副操縦士をめざします。「うちな～の翼」として、生まれ育った沖縄への恩返しや貢献をしていきたいですね。航空の側面から地元を盛り上げたいです。

岸本: 日々の業務や訓練をがんばって、1日も早く沖縄の役に立ちたいです。飛行機はいろいろな方の協力があって一便一便飛ぶことができます。周りの意見などをちゃんと尊重できる、信頼されるパイロットになりたいですね。



JTA SKY CAMPの様子



JTAと琉球大学との包括連携協定では、さまざまな職種の社員が講師を務め、寄付講座を行っています。その一環で始まった「JTA SKY CAMP」は、パイロットとして長くJTAを支えてくれる地元の若い人材を見出すために始まったインターンシップです。パイロットは文系理系も男女も問いません。ぜひ気軽に参加してください。沖縄では経済的な事情でパイロットの夢をあきらめることも多いと聞きますが、JTAでは「SKY CAMP」に加え、その後の支援策もあり、琉球大学卒業後はJTAと熊本県にある崇城大学が結んだ協定により、崇城大学の研究生となり、約2年で必要な各種ライセンスの取得が目標です。2023年4月には、4期生2名が崇城大学に進学する予定です。*

*2023年3月現在

日本トランスオーシャン航空株式会社
運航部 副部長
正岡良和 さん



CAMPUS MAP

キャンパスマップ

琉球大学



キャンパス内
主なスポット



A 大学本部棟



B 全保連ステーション (大学会館)



C グローバル教育支援機構



D 国際地域創造学部



E 人文社会学部



F 教育学部



G 理学部



H 工学部



I 農学部



J 圃場



K 医学部



「知の殿堂」

琉球大学独自の集積力で豊かな創造性を育む

附属図書館は本館と医学部分館からなり、あわせて約100万冊の図書・雑誌が利用できます。資料の閲覧・貸出のほか、本館には学生のアクティブな学びをサポートするラーニング・commonsや、グローバル教育の活動の場であるグローバル・commons津梁など多様な学修スペースがあります。また、レポートの書き方や履修方法に関して、大学院生からアドバイスを受けられる相談窓口も設けています。



充実した学修支援体制

豊富な蔵書・電子資料

学生や教職員から寄せられるリクエストに応えながら、毎年約1万冊の図書を購入。大学内の幅広い分野での学修活動を支援しています。また、紙の資料だけでなく、館外でもインターネットで利用できる電子資料も豊富です。

多彩な学修エリア

館内は学修方法に応じて学修エリアが選べます。一人で集中して学修できたり、グループで会話をしながら学べたり、プレゼンテーションに適しているエリアなどさまざまです。無線LANに接続し、パソコンを使った学修も可能です。

沖縄研究資料の利用も しっかりサポート

沖縄関係の文献情報を収録したデータベースをインターネット上で公開。貴重書画像などもデジタル化し、解説や英訳を付けています。琉球大学の強みともいえる沖縄研究資料の利用をしっかりと支えます。

学生のグローバル化を 支援

館内には、留学や語学学習のための資料・支援を充実させたエリアもあります。自由に会話ができるスペースとなっているので、グループで声を出しながら外国語会話の練習をすることもできます。

きめ細かな学修サポート

資料や情報の調べ方・使い方がわからなくても大丈夫。調べ方や使い方をわかりやすく説明したガイドブックや講習会などを用意しているほか、サービスカウンターでも随時サポートしています。

学生の立場に即した ピアサポート

大学院生が学生たちにレポートの書き方や学修方法をアドバイスする「ラーニング・サポートデスク」を館内に開設。大学院生による学修支援セミナーも定期的にも実施しているので、気軽に参加できます。



コラム
column

附属図書館には学修や研究に必要な多様なコンテンツがあります。図書や雑誌の他、教養を身につけるのに最適な文庫・新書、沖縄の新聞および全国紙も利用できます。紙の資料だけでなく、電子書籍や調べものに役立つ各種データベースも整備しています。また、SDGsや沖縄の歴史・文化などを取り上げた図書館独自の企画展も開催しています。ホームページやInstagramも開設しているのでチェック！



ホームページ



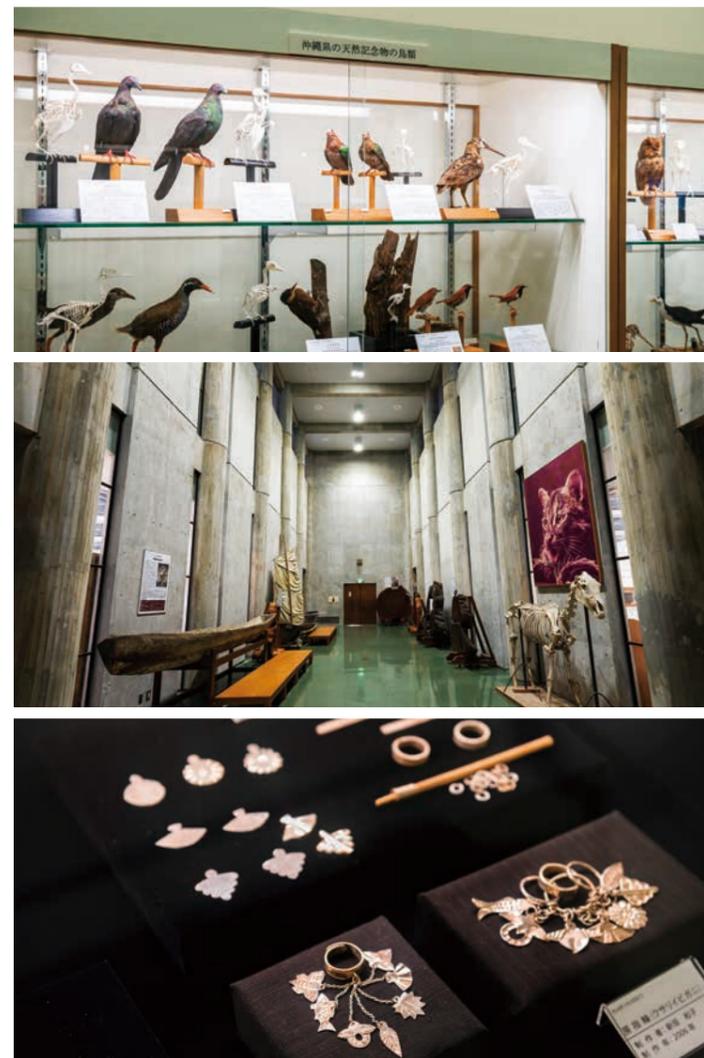
Instagram



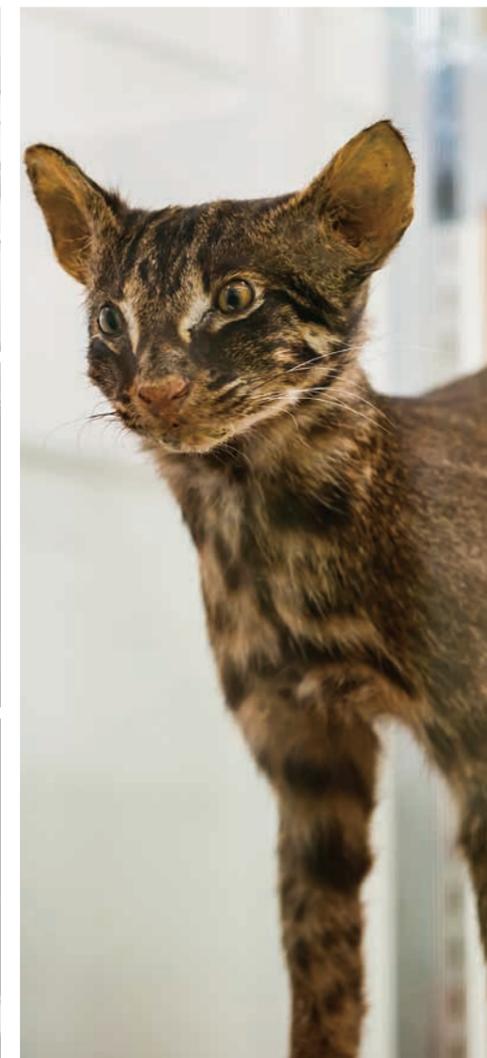
「研究と創造の宝庫」

沖縄の自然と文化をテーマに約20万点の学術資料を収蔵

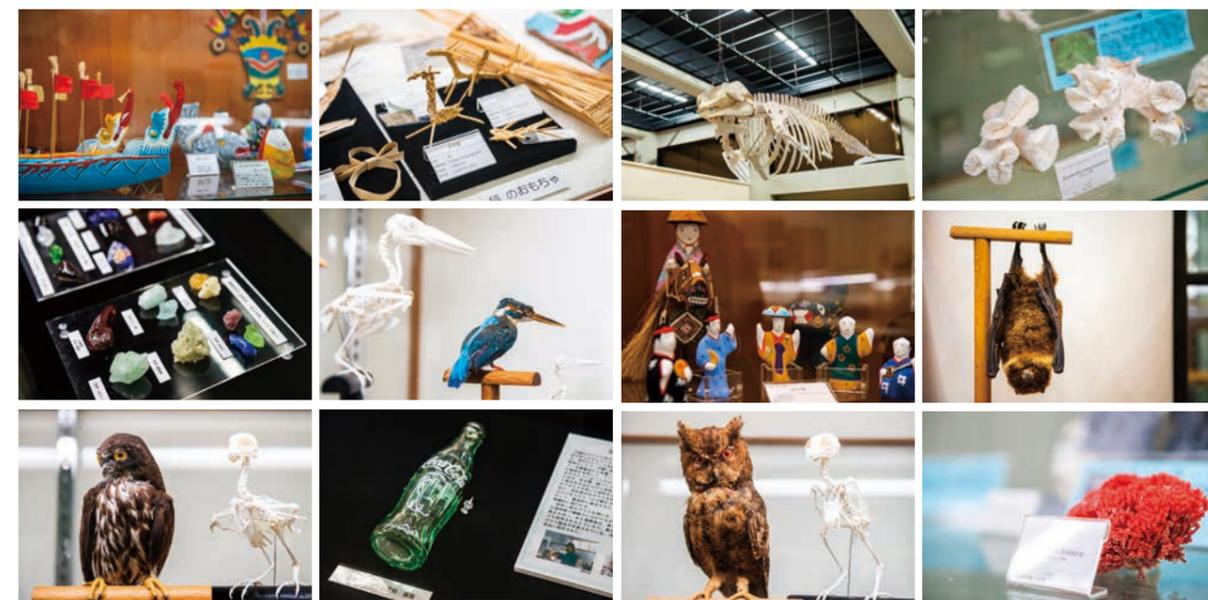
琉球大学には附属の博物館があります。農学部のおすぐ近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。ここでは、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の教育や研究に活用されています。また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、地域に開かれた大学博物館を目指しています。



上段2枚は自然系展示室、下段は文化系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4,000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、さまざまな昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。



熱帯生物圏研究センター

Tropical Biosphere Research Center

日本で唯一、熱帯・亜熱帯環境下にある共同利用・共同研究拠点。
瀬底島と西表島にある各研究施設と千原キャンパス内のふたつの研究施設が連携し、地域の生物の生態的特性や多様性、人の健康、人と環境の相互作用などの解明を進めています。

瀬底研究施設 Sesoko Station



瀬底研究施設には、サンゴ礁生物研究の国際的拠点となる共同研究施設を整備し、24時間体制で研究できる宿泊室も完備しています。多くの国内外の学生や研究者が施設を利用し、サンゴ礁のフィールド調査や海水を利用した生物飼育実験などを行い、研究を推進しています。



西表研究施設

Iriomote Station

西表島



日本最大の亜熱帯照葉樹林・マングローブ林を有し、その周りを良好なサンゴ礁に囲まれた西表島は、様々なフィールド研究を行うのにもってこいの島です。西表研究施設は宿泊・実験施設を備えており、国内外の学生や研究者に活用されています。



沖縄本島

瀬底島

琉球大学

那覇

亜熱帯フィールド 科学教育研究センター 与那フィールド Yona Field

日本の大学の中で唯一、亜熱帯に位置する大学演習林。
他の大学や研究機関とも連携し「日本最南端の森林データ」を提供しています。
農学部を主に、学生がフィールドワークや実習で利活用しています。



海外拠点



- 台北サテライトオフィス
- ハワイリエゾンオフィス
- ラオスサテライトオフィス
- ドイツサテライトオフィス
- ブラジルサテライトオフィス

キャンパス カレンダー

琉球大学に進学したら、どんな日々が待っているのでしょうか？ここでは、年間の学校行事と、沖縄の伝統行事、暮らしのヒントをご紹介します。しっかり勉学の準備をして季節ごとのイベントを楽しみながら、キャンパスライフを充実させましょう。



▲オープンキャンパス



沖縄の気温は年間通して10度以下になることが稀で、冷房（エアコン）は3月から11月頃まで使用します。



沖縄の桜は1月下旬から開花が始まり、2月頃満開に。「カンヒザクラ」という種類で、濃いピンクが特徴です。

6月23日は県が制定した「慰霊の日」で戦没者を追悼する日。県内の市町村機関は休日、学校も休講です。



- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 前学期授業開始

● 教育実習開始

- 英語全学統一テスト
- 夏季休業
- 東京説明会

- 名古屋説明会
- グローカルフェスティバル
- 冬季休業
- 学校推薦型選抜

- 後学期期末試験
- 春季休業
- 一般選抜（前期日程）

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

- 体育祭
- 開学記念日(5月22日)

- 前学期期末試験
- オープンキャンパス

- 後学期授業登録
- 夏季休業
- 琉大祭
- 総合型選抜（第1次選考）

- 後学期授業開始
- 総合型選抜（第2次選考）
- ビジットキャンパス（保護者向け大学説明会）

- 後学期（後半）授業開始
- 大学入学共通テスト

- 卒業式
- 春季休業
- 一般選抜（後期日程）

5月上旬、航海の安全や豊漁を祈願する伝統行事「ハーリー」が開催。「サバニ」と呼ばれる伝統漁船で競漕を行います。



PICK UP!

1年で最もキャンパスが活気づく「琉大祭」は、学生主体の「文化と自治の祭典」として開催されます。音楽、芸能、芸術、学術、スポーツなど、さまざまな分野で研究・活動する学科やサークルが、その成果を発表。野外ステージのフィナーレを飾る「法政エイサー」の演舞は琉大祭の名物です。

旧暦のお盆の時期、先祖の供養として「エイサー」の演舞が行われます。唄と三線、太鼓と踊りで各地が賑わいます。



▲ 琉大祭 法政エイサー演舞



琉大祭 ▲



グローバルな視野や思考力を育む海外留学に向けて世界各国・地域の大学等と国際交流協定を締結しています

海外留学

琉球大学では約40カ国・地域の大学等と国際交流協定を締結して、充実した海外留学制度を整えるとともに、経済的な支援として、大学独自の奨学金や支援金により海外留学をサポートしています。また、バラエティ豊かなアジア・太平洋島嶼地域の諸大学に留学できるのも琉球大学ならではの。

国際化とは語学を学ぶことだけではない

今海外の大学院で学んでいるみなさんの先輩が言いました。「私は世界で環境工学の仕事がしたくて海外で学んでいます。語学はその目的を達成するためのハードルにしか過ぎませんでした。」重要なのはあなたが何をしたいかです。琉球大学は世界各国・地域に交流協定校があり、選択肢は豊富で、必ずあなたの「何がしたい」にふさわしい場所が見つかるはず。あるいは「何がしたい」を見つけるために飛び出してもいいです。もちろん語学も大切ですが、それはハードルに過ぎず、ゴールはあなた自身の目的にあります。

琉球大学 短期交換留学(派遣)プログラム 本学から海外への留学

- 派遣期間は、1年以内
- 留学先の大学で取得した単位は、琉球大学の卒業要件の単位として認定可能
- 留学先の大学の授業料等は不要(ただし、琉球大学に在学している状態となるため、琉球大学の授業料は必要)
- 日本学生支援機構や琉球大学後援財団による奨学金(6~8万円/月)あり(選考があります)
- 琉大独自の奨学金(6~12万円)や準備金・短期研修参加費用を一部支援する制度もあり(詳細は下の琉球大学QUEST基金を確認)

学生部国際教育課の担当職員が、海外留学全般の相談に応じます。お気軽にご相談ください!

派遣留学のための学内奨学金 琉球大学QUEST基金 学生の国際交流支援事業

本学卒業生から、学生の国際交流支援のために受け入れた寄附金を主な財源として2017年度に創設し、2018年度から事業を開始した基金です。「QUEST」は「Quality Education and Support for Tomorrow」を意味し、本基金では、未来へつなげる学生の探究心の向上に資することを目的に、次のような支援を行っています。

■短期交換留学生(協定派遣)の生活サポート — 短期交換留学(協定派遣)奨学金

本学と学生交流協定を締結している海外の大学に交換留学生として短期留学する学生に対して、奨学金及び留学準備金を支給しています。(2022年度実績)奨学金月額6~8万円、留学準備金16万円(家計基準あり)

■短期派遣研修プログラムサポート — 短期派遣研修プログラム助成

全学部学生を対象に実施する海外文化研修や各学部が実施する海外短期研修プログラム参加者に対して、研修費用の一部を支援しています。(2022年度実績)派遣地域、派遣期間等により助成金8~15万円を上限に支給

■大学院学生の海外研究サポート — 大学院学生の海外留学奨学金

海外の大学や研究機関等への留学を希望する本学研究科の大学院学生に対して、給付型奨学金及び留学準備金を支給しています。(2022年度実績)奨学金月額12~16万円、留学準備金15~25万円(派遣地域によって支給額が異なります。)

■海外留学準備サポート — 英語能力試験受験料助成

海外留学を目指す学部学生及び大学院学生に対して、留学準備のために受験する英語能力試験(TOEFL iBT, IELTS)の受験料の一部を支援しています。(2022年度実績)助成金TOEFL iBT又はIELTSの受験1回につき2万円



琉球大学では、海外留学を支援するために、この他にも様々な返済不要の給付型奨学金を用意しています。詳しくは、国際教育課のホームページで確認してください。

留学に関する
問い合わせ先

学生部 国際教育課留学交流係
TEL:098-895-8761



詳しくはこちら

各学部等が行う主な
国際交流プログラム

全学部・全研究科対象

交換留学

ISEPIによる交換留学

UMAPによる交換留学

パレンシア国際カレッジ・プログラム*

全学部対象

海外職場体験

海外文化研修

人文社会学部(国際法政学部)対象

東アジア諸国(韓国・台湾など)、
米国(ハワイ・アラスカ)等での海外研修

医学部対象

ラオスでの医学生人材育成支援事業

工学部対象

エヌ・テック・システムズ

東南アジア派遣助成事業

農学研究科対象

「国際農学プログラム」による海外研修

*経営・ビジネス・マーケティング・コミュニケーション・アメリカ文化・調理・食品・ホスピタリティ・観光等を専攻していること

海外留学の前に…「海外文化研修」

本学では、半年から1年間の「交換留学」以外に、2週間から4週間程度の「海外文化研修」を実施しています。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5言語で実施しており、どの学部も履修条件を満たせば参加することができます。

海外留学をするべきかどうか迷っている場合や海外留学のイメージが湧かない場合は、まずは「海外文化研修」で留学を体験してみませんか?

英語
English

2週間の文化研修では英語圏の国や地域に滞在し、提携先の大学の講義に参加します。またフィールドトリップを通して、語学だけではなく、その土地の文化や歴史、習慣などを学ぶことができます。2019年度はハワイ大学マノア校でハワイと沖縄の交流史などを学び、ウィンドワードコミュニティカレッジでは現地学生との交流やSDGsについての発表も行いました。



フランス語
français

夏期休暇中に3~4週間の日程で実施します。地方都市の落ち着いた雰囲気の中でホームステイまたは寮生活をしながら2週間行う語学研修では、実践的な言語運用能力の向上を目指します。また、1~2週間の文化研修ではパリや地方、近隣国等を訪れ、美術・建築様式の歴史や現地の社会事情を体感し、フランスやヨーロッパの文化・歴史・社会に対する理解を深める機会を提供します。

スペイン語
español



スペインで3~4週間の語学研修を行います。滞在期間中には、現地学生、ホストファミリー等との交流を通して、スペイン語の運用能力の向上を図ります。その他、週末等を利用して研修仲間と一緒に小旅行を楽しみながら、スペインの文化や歴史に対する理解を深めます。

ドイツ語
Deutsch

夏期休暇中に、隔年でドイツ及びヨーロッパ各地にて約4週間実施されます。協定校のデュッセルドルフ大学における2週間の語学研修と10日間のバス旅行、最後の4日間は各自の興味に合わせた自由旅行となります。語学研修では外国語運用能力の向上を図り、現地学生・市民との交流を試みる一方、文化研修においては毎回異なるテーマを設定し、そのテーマに沿って訪問国・地域の文化や歴史に対する理解を深め、帰国後の学習がより深化・発展するような研修となっています。

中国語
汉语 / 漢語 / 中文



「海外文化研修(中国語圏)」においては、もともと人文社会学部琉球アジア文化学科の専門科目として開設していた科目を、全学部対象に門戸を広げ、2年に1度、台湾の協定校にて研修をおこなっています。中国語の学習はもちろん、文化体験、史跡巡りなどを行い、現地の学生らと交流をしながら、異文化理解を深めることのできる研修になっています。

詳しくはこちら



国内外の各地から学生や留学生が集まる琉球大学には、異文化交流や人間の成長を促す学生寮（千原寮）があります。

学生寮(千原寮)

※学生寮の詳細についてはコチラ



混住型棟



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員/男子:80名 女子:50名
- 居室(12㎡)はすべて個室で、エアコン、トイレ(温水洗浄便座)と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮は16人、女子寮は10人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗濯室等があります。

寄宿料	月額 15,000 円
維持費	月額 9,400 円 寮生が共用部所で使用する水道・ガス等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 26,000~29,000 円程度です。

新混住型棟



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員/男子:59名 女子:39名
- 居室(15㎡)はすべて個室で、エアコン、キッチン(IHコンロ)、シャワー・トイレ(温水洗浄便座)一体型と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮は11~12人、女子寮は7~8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

寄宿料	月額 20,000 円
維持費	月額 5,000 円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 28,000~31,000 円程度です。

一般棟(トイレ・シャワー共用タイプ)



- 鉄筋コンクリート5階建:
男子寮3棟/北辰棟(A・Cブロック)・海邦棟・南星棟
女子寮1棟/紫陽花棟(A・Cブロック)
- 定員/
男子:345名(海邦棟95名、南星棟150名、北辰棟A・Cブロック各50名)
女子:100名(紫陽花棟A・Cブロック各50名)
- 居室(9㎡)はすべて個室で、エアコンと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 9~10人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、シャワー室、補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

寄宿料	月額 10,000 円
維持費	月額 9,400 円 寮生が共用部所で使用する水道・ガス等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 21,000~23,000 円程度です。

一般棟(トイレ・シャワー個室タイプ)



- 鉄筋コンクリート5階建:
男子寮1棟/北辰棟(Bブロック)
女子寮1棟/紫陽花棟(Bブロック)
- 定員/男子:40名 女子:40名
- 居室(13.5㎡)はすべて個室で、エアコン、シャワー、トイレと必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには、補食室(IHコンロ)、洗面洗濯室、トイレ(温水洗浄便座)等があります。

寄宿料	月額 15,000 円
維持費	月額 5,000 円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 23,000~26,000 円程度です。

新棟男子寮・新棟女子寮



- 鉄筋コンクリート7階建(男子寮・女子寮)エレベーター完備
- 定員/男子:112名 女子:112名
- 居室(16㎡)はすべて個室で、エアコン、キッチン(IHコンロ)、シャワー・トイレ(温水洗浄便座)と必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます*。また、無線ルーター貸出(無料)が可能です。
- 男子寮・女子寮は、それぞれ16人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。

寄宿料	月額 25,000 円
維持費	月額 5,000 円 寮生が共用部所で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額 33,000~36,000 円程度です。

※インターネット利用には居住者本人と業者の個人契約が必要です。

共用棟

共用棟には、事務室、談話室(ホール)、トイレ(男子用、女子用、身障者用)、自動販売機(飲み物等)があります。また、無線LANも利用できます。

専用駐車場

学生寮の構内にある千原寮駐車場が利用できます(月額1,000円)。但し、千原寮に居住する学生の車両は、千原寮以外の大学内駐車場の利用および通学には使用できません。

【千原寮入寮案内の請求先】 [学寮事務局] 〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原59番地 TEL:098-895-8133・8101

意欲ある者が経済的な事情に左右されずに学べるよう、様々な支援を行っています。

経済サポート

※経済的支援制度の詳細はコチラ



琉球大学では、様々な入学金・授業料を減免する制度や奨学金の制度を整えています。
(2022年度の情報を掲載していますので、変更となる場合があります。)

新制度 修学支援	対象 住民税非課税世帯及び非課税世帯に準ずる世帯の学生 ※支援区分別(第I:全額、第II:2/3、第III:1/3)に判定(下記金額はいずれも昼間主学生が区分の場合)。			
	<table border="1"> <tr> <td>JASSO給付型奨学金(年額)</td> <td>自宅生約35万円 自宅外生約80万円</td> </tr> <tr> <td>授業料等免除(年額)</td> <td>入学料約28万円 授業料約54万円</td> </tr> </table>	JASSO給付型奨学金(年額)	自宅生約35万円 自宅外生約80万円	授業料等免除(年額)
JASSO給付型奨学金(年額)	自宅生約35万円 自宅外生約80万円			
授業料等免除(年額)	入学料約28万円 授業料約54万円			

貸与奨学金 JASSO	<table border="1"> <tr> <td>第一種奨学金(無利子)</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>自宅生</td> <td>45,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> <tr> <td>自宅外生</td> <td>51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>第二種奨学金(有利子)</td> <td>2万円~12万円(1万円単位)(月額) ※第一種及び第二種奨学金の併用貸与も可能</td> </tr> <tr> <td>入学時特別増額貸与奨学金(有利子)</td> <td>10万円~50万円(10万円単位)(一時金) ※入学時特別増額貸与奨学金のみの貸与は不可</td> </tr> </table>	第一種奨学金(無利子)	<table border="1"> <tr> <td>自宅生</td> <td>45,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> <tr> <td>自宅外生</td> <td>51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> </table>	自宅生	45,000円、30,000円、20,000円(月額)	自宅外生	51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)	第二種奨学金(有利子)	2万円~12万円(1万円単位)(月額) ※第一種及び第二種奨学金の併用貸与も可能	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	10万円~50万円(10万円単位)(一時金) ※入学時特別増額貸与奨学金のみの貸与は不可
	第一種奨学金(無利子)	<table border="1"> <tr> <td>自宅生</td> <td>45,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> <tr> <td>自宅外生</td> <td>51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)</td> </tr> </table>	自宅生	45,000円、30,000円、20,000円(月額)	自宅外生	51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)					
	自宅生	45,000円、30,000円、20,000円(月額)									
自宅外生	51,000円、45,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)										
第二種奨学金(有利子)	2万円~12万円(1万円単位)(月額) ※第一種及び第二種奨学金の併用貸与も可能										
入学時特別増額貸与奨学金(有利子)	10万円~50万円(10万円単位)(一時金) ※入学時特別増額貸与奨学金のみの貸与は不可										

琉球大学による入学金免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

入学金免除	全額	半額
-------	----	----

琉球大学独自制度による授業料免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

授業料免除	昼11万円免除(夜5.5万円)
-------	-----------------

琉球大学修学支援基金学資金支援事業

対象 経済的に著しく困窮している方

学資金の給付	一律5万円を給付(2022年度実績) ※各年度の状況に応じた額になります。
--------	--

2022年度 入学金・授業料	<table border="1"> <tr> <td>昼間主コース</td> <td>入学金282,000円 授業料535,800円(年間) 267,900円(半期)</td> </tr> <tr> <td>夜間主コース</td> <td>入学金141,000円 授業料267,900円(年間) 133,950円(半期)</td> </tr> </table>	昼間主コース	入学金282,000円 授業料535,800円(年間) 267,900円(半期)	夜間主コース	入学金141,000円 授業料267,900円(年間) 133,950円(半期)
昼間主コース	入学金282,000円 授業料535,800円(年間) 267,900円(半期)				
夜間主コース	入学金141,000円 授業料267,900円(年間) 133,950円(半期)				

※2022年4月1日現在

卒業後、社会的・職業的に自立できるよう様々なキャリア教育・支援を展開しています

キャリア教育・支援と卒業生の進路

多様な生き方・働き方が認められる現代の社会においては、自らライフ・キャリアを創造していくための力が必要です。
琉球大学キャリア教育センターでは、在学生のキャリア形成支援のための様々な教育やサービスを展開しています。

体系的なキャリア教育科目の提供

キャリア形成入門 キャリア教育センター教員による、キャリア形成のための基礎授業です。現代社会における多様なキャリアデザインについて学び、大学生活を主体的に過ごすための態度や能力を育てます。	キャリア関係特別講義Ⅱ(県内中期インターンシップ) インターンシップ実習と実習前後の研修をセットにした実践的な授業で、県内企業でのインターンシップに低学年次から参加可能です。初めてでも、事前研修で就業人意識やビジネスマナーを確認し、安心して臨めます。「うりずんインターンシップ」の名称で実施され、他大学の学生や学年を超えた交流ができるのも魅力です。	キャリア関係特別講義Ⅵ(県外長期インターンシップ) 経済同友会に加盟する有志企業での県外インターンシップ実習が経験できます。渡航費・宿泊費等の学生負担がなく、県外就職や大手企業での就職を検討している学生にお勧めです。講義内では少人数でじっくり事前研修を行い、教育的効果の高いインターンシップ実習をサポートしています。参加対象学年：1~2年次	海外職場体験 アジアを中心とした近隣諸国で1週間程度のインターンシップを行います。現地学生や現地で生活する日本人との交流も含まれ、多くの刺激を受けることができます。これまでに海外経験がない学生にもおすすめです。
--	--	--	---

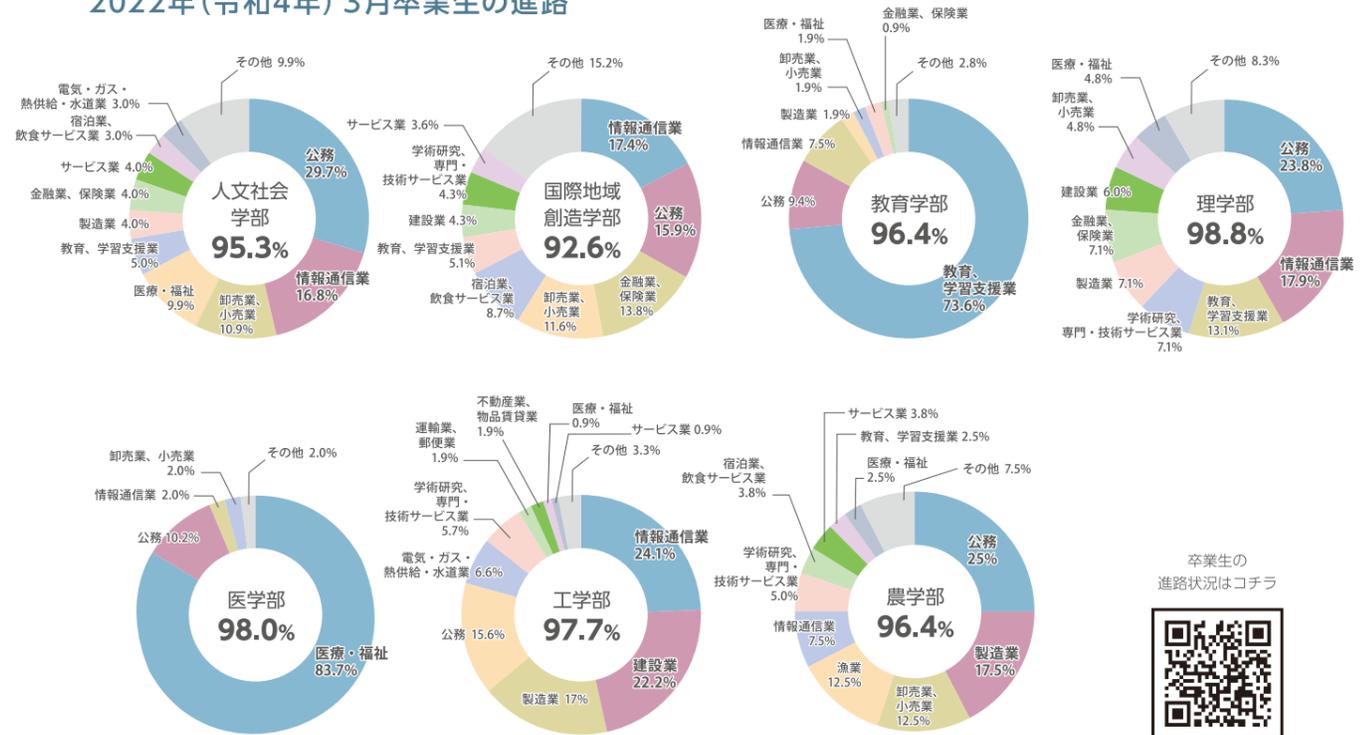
就職・進路決定への総合的な支援

キャリア教育センターでは、経験豊富なキャリアアドバイザーへ就職や進路に係る相談が出来るほか、次のような支援を行っています。

- 就職、進路相談
- 全学年対象、就職ガイダンスの開催
- 学内合同企業説明会の開催
- 公務員試験対策講座
- 教員採用試験対策講座
- 県外就職活動経費の支援
- 就職関連情報の配信

2023年学内合同企業説明会の様子

2022年(令和4年)3月卒業生の進路



取得可能な教員免許状

※2023年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

学部	学科・課程・専攻・コース・専修		中学校教諭一種 (区分)	高等学校教諭一種 (区分)	その他 (区分)		
学人社会	国際法政学科		—	—			
	人間社会学科			公民(B)			
	琉球アジア文化学科		国語(B)	国語(B)			
国際地域創造	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム	—	—			
		経営プログラム					
		経済学プログラム(昼間主コース)	社会(B)				
		国際言語文化プログラム(昼間主/夜間主コース)	英語(B)	英語(B)			
		地域文化科学プログラム	社会(B)	地理歴史(B)			
教育学部	学校教育教員養成課程	学校教育専攻	教育実践学専修	* (B)	* (B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			子ども教育開発専修	* (B)	* (B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
		教科教育専攻	国語教育専修	国語(B)	国語(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			社会科教育専修	社会(B)	地理歴史(B) 公民(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			数学教育専修	数学(B)	数学(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			理科教育専修	理科(B)	理科(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			音楽教育専修	音楽(B)	音楽(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			美術教育専修	美術(B)	美術(B) 工芸(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			保健体育専修	保健体育(B)	保健体育(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			技術教育専修	技術(B)	工業(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			生活科学教育専修	家庭(B)	家庭(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
			英語教育専修	英語(B)	英語(B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)	
		中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	国語(A)	国語(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
				社会科教育専修	社会(A)	地理歴史(B) 公民(B)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
				数学教育専修	数学(A)	数学(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
				理科教育専修	理科(A)	理科(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
				音楽教育専修	音楽(A)	音楽(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
				美術教育専修	美術(A)	美術(A) 工芸(B)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)
	保健体育専修			保健体育(A)	保健体育(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)	
	技術教育専修			技術(A)	工業(B)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)	
	生活科学教育専修			家庭(A)	家庭(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)	
	英語教育専修	英語(A)	英語(A)	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)			
	特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	** (A/B)	** (B)	小学校一種(A/B) 幼稚園一種(B) 特別支援一種(A)	
	理学部	数理科学科		数学(B)	数学(B)		
		物質地球科学科		理科(B)	理科(B)		
		海洋自然科学科					
	医学部	医学科		—	—		
保健学科				養護教諭一種(B)			
工学部	工学科	機械工学コース		工業(B)			
		エネルギー環境工学コース		工業(B)			
		電気システム工学コース	—	工業(B)			
		電子情報通信コース		工業(B)			
		社会基盤デザインコース		工業(B)			
		建築学コース		工業(B)			
		知能情報コース		情報(B)			
農学部	亜熱帯地域農学科		—	農業(B)			
	亜熱帯農林環境科学科						
	地域農業工学科						
	亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コースを除く)						
	亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コース)					栄養教諭二種(B)	

区分 (A) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格 (B) 卒業単位の修得+当該教員免許取得に必要な科目の履修により得られる資格

*は他専修教科から選択(例:国語を選択すれば「国語」が取得できる)

**は特別支援一種:特別支援学校教諭一種(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)は小学校か中学校のどちらか一方の一種免許が基礎資格となるため、同時に卒業単位で取得できる。

教員免許状以外の資格等

※2023年4月1日現在。最新の資格等については、各学部へお問い合わせください。

学部	学科・課程・専攻・コース・専修	資格・試験名(区分)	
学人社会	人間社会学科	社会学プログラム	社会福祉士(社会福祉学コース:12)
		心理学プログラム	認定心理士(3) 公認心理師(14)
	琉球アジア文化学科		博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談
国際地域創造学部	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム	博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談 ※観光地域デザインプログラムについては指導教員に要相談
		経営プログラム	
		経済学プログラム	
		国際言語文化プログラム	
		地域文化科学プログラム	
教育学部	学校教育教員養成課程	学校図書館司書教諭(8) 博物館学芸員(美術教育専修:3)	
理学部	物質地球科学科	物理系	博物館学芸員(3) 測量士補(1) 測量士(5)
		地球環境系	博物館学芸員(3)
海洋自然科学科	化学系	博物館学芸員(3) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4)	
	生物系	博物館学芸員(3)	
医学部	医学科	医師(4)	
	保健学科	看護師(4) 保健師(12) 助産師(12) 臨床検査技師(4) 健康食品管理士(12) ※助産師については、将来的に大学院課程への移行を検討しています。	
工学部	工学科	機械工学コース	自動車整備士(4) 航空整備士(10) ボイラー技士(9) 機械設計技術者3級(10) 技術士(10) 航空無線通信士(10) 危険物取扱試験(10) 基本情報技術者試験(10) 他
		エネルギー環境工学コース	ボイラー・タービン主任技術者(5) 衛生管理者(6) 冷凍空調技士(10) 他
		電気システム工学コース	電気主任技術者(指定科目の修得が必要)(5) 電気通信主任技術者(指定科目の修得が必要)(2) 第二種電気工事士(指定科目の修得が必要)(2) 2級電気工事施工管理技士(4)
		電子情報通信コース	電気主任技術者(指定科目の修得が必要)(5) 電気通信主任技術者(指定科目の修得が必要)(2) 第二種電気工事士(指定科目の修得が必要)(2) 2級電気工事施工管理技士(4)
		社会基盤デザインコース	技術士補(1) 技術士(6) 測量士補(3) 測量士(5) 1・2級土木施工管理技士(6) コンクリート診断士(6) 建築設備士(6) 土地区画整理士(6) 他
		建築学コース	一級建築士(4) 二級建築士(4) 木造建築士(4) 1・2級建築施工管理技士(6) 1・2級土木施工管理技士(6) 建築設備士(6) 土地区画整理士(6) 他
		知能情報コース	基本情報技術者試験(10) 応用情報技術者試験(10) ネットワークスペシャリスト試験(10) 他
農学部	亜熱帯地域農学科	飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工受精師(受講科目の一部免除)(10) 樹木医補(3) 家畜受精卵移植師(受講科目の一部免除)(10) 2級・3級造園技能士(10)	
	亜熱帯農林環境科学科	樹木医補(3) 飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工受精師(受講科目の一部免除)(10) 食鳥処理衛生管理者任用資格(7) 家畜受精卵移植師(受講科目の一部免除)(10)	
	地域農業工学科	測量士補(地域環境工学コース:1) 技術士(技術士の第一次試験免除(日本技術者教育認定基準「JABEE」) 認定プログラム修了者)(6)	
	亜熱帯生物資源科学科	食品衛生管理者(10) 食品衛生監視員(10) 環境衛生監視員(10) 健康食品管理士(12) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4) 上級バイオ技術者(4)	
	亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース	栄養士(11) 管理栄養士(13) 健康食品管理士(12) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4) 上級バイオ技術者(4)	

区分

- 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格
- 卒業単位を修得することにより試験の一部が免除される試験
- 卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる資格
- 卒業単位を修得することにより受験資格のある試験
- 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする資格
- 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験
- 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格
- 前提となる資格を取得して得られる資格
- 前提となる資格を取得後、実務経験を必要とする資格

- 国が認定する1~9以外の資格又は試験
- 卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる免許
- 卒業単位の修得+必要な科目の履修により得られる受験資格
- 前提となる免許を取得後、1年以上の実務経験を経て、得られる受験資格
- 学部における所定単位の修得/卒業、及び大学院における所定単位の修得/修了により得られる受験資格、あるいは学部における所定単位の修得/卒業後、実務経験を経て得られる受験資格

2024(令和6)年度募集人員

学部	学科・課程・(選抜方式)等		募集人員(名)									
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人	
			前期日程	後期日程	共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す				
人文社会学部	国際法政学科		50	14				16		若干名	若干名	
	人間社会学科	哲学プログラム	41	18				5		若干名	若干名	
		心理学プログラム						8				
		社会学プログラム						8				
琉球アジア文化学科		25	9				6		若干名	若干名		
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	60	15			50		若干名	若干名	
			(論理的思考系)	90	20							
			(数学的思考系)	30								
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	20	5			13		10		
(論理的思考系)	24	8										
教育学部	学校教育教員養成課程	学校教育専攻	学校教育専攻	35		5		10				
			国語教育専修	25					2			
			社会科教育専修						2			
			数学教育専修						2			
			理科教育専修						2			
			音楽教育専修						2			
			美術教育専修						2			
			保健体育専修						2			
			技術教育専修						2			
			生活科学教育専修						2			
	英語教育専修	2										
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	4								
			社会科教育専修	3								
			数学教育専修	5								
			理科教育専修	5								
			音楽教育専修	3								
			美術教育専修	3								
			保健体育専修	3								
			技術教育専修	2								
			生活科学教育専修	3								
英語教育専修			2									
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	8					1 英語重視		2		
理学部	数理科学科		30	10							若干名	
	物質地球科学科	物理系	28	7				5		若干名	若干名	
		地球環境系	19	3				3		若干名	若干名	
	海洋自然科学科	化学系	27	10				10		若干名	若干名	
生物系		37	10				1		若干名	若干名		
医学部	医学科		70	25				5				
	保健学科		41	10				9		若干名	若干名	
工学部	工学科	機械工学コース	206	40				11	若干名		若干名	
		エネルギー環境工学コース						10	若干名		若干名	
		電気システム工学コース						2	若干名		若干名	
		電子情報通信コース						4	若干名		若干名	
		社会基盤デザインコース						5	若干名		若干名	
		建築学コース						2	若干名		若干名	
		知能情報コース						7	若干名		若干名	
農学部	亜熱帯地域農学科		22	5		3	5		若干名	若干名		
	亜熱帯農林環境科学科		22	5		3	5		若干名	若干名		
	地域農業工学科		16	2		2	5		若干名	若干名		
	亜熱帯生物資源科学科		23	4		2	6		若干名	若干名		
	健康栄養科学コース		8			2						

「医学部医学科」の学校推薦型選抜Ⅱ(共通テストを課す)における地域枠の増員の取扱いについては、
 本学HP⇒「入試課からのお知らせ」をご確認ください。
 URL: <https://www.u-ryukyuu.ac.jp/admissions/infomation/>

詳しくは琉球大学の
 ホームページ「募集要項」を
 ご確認ください。



令和7年度 新入試について



Q & A

平成30年度学習指導要領の改訂を受け、令和7年度入学者向けの入試(令和6年度実施)から、新入試に変更となります。
 本冊子は、令和6年度(2024年度)入試を受験する方(現役生で言えば、令和5年4月で3年生)に向けて発行しておりますが、
 令和7年度に大きく変更となることから、新入試についてお知らせします。
 ※令和5年3月時点の情報です。最新の情報は本学HP「入試情報」を必ずご覧ください。



Q1. 平成30年度学習指導要領の改訂で何が変わるの?

主な変更点は以下のとおりです。

- 新教科「情報Ⅰ」の追加
- 地歴公民の科目編成の変更
- 数学の履修分野の変更
- 国語、理科、英語における履修内容の改訂



Q2. 共通テストは何が変わるの?

主な変更点は以下のとおりです。

- 新教科「情報Ⅰ」の追加
- 地歴公民の出題方法・選択方法の変更
- 数学の出題分野の変更



Q3. 琉球大学の入試はどう変わるの?

一般選抜では、「共通テスト」+「個別学力検査」の組合せは変わりませんが、以下の点が変更となります。

- 新教科「情報Ⅰ」は全ての学部・学科等で必須となり、共通テストで受験する必要があります。
- 地歴公民の科目の選択方法が変更となる学部・学科等があります。
- 個別学力検査「数学」(一般選抜の数学のこと)の出題範囲が変更となります。

詳細な学部・学科等ごとの変更点は以下のとおり公表しています。

- 本学HP「入試情報」で、令和7年度入学者選抜の予告として公表しています。



QRコードから全学部の配点等を確認できます ▶



Q4. 既卒生も共通テスト「情報Ⅰ」を受験する必要があるの?

- 令和7年度入試を受験する場合は、既卒生・現役生に関係なく、共通テスト「情報Ⅰ」を受験する必要があります。
- ただし、既卒生は経過措置科目「旧情報(仮)」を選択することができます。
- 「旧情報(仮)」の出題範囲は「社会と情報」及び「情報の科学」の内容です。
- また、「社会と情報」、「情報の科学」のどちらの科目を履修していても不利益が生じないような出題となります。

出題範囲イメージ

- 両科目の共通部分に対応した問題 → 必答
- 「社会と情報」に対応した問題 } 選択解答
- 「情報の科学」に対応した問題 }

Q5. 共通テストの数学や地歴公民でも経過措置科目があるの?

- 共通テストでは、情報Ⅰだけでなく、数学や地歴公民でも経過措置科目があります。

詳細は大学入試センターHPをご覧ください

令和7年度入学者選抜についてご不明な点があれば、お問い合わせフォームからお気軽に学生部入試課までお問い合わせください。

お問い合わせフォーム



担当: 学生部 入試課 TEL: 098-895-8141 FAX: 098-895-8129



Access

空港から

モノレール バスターミナル隣接
 空港 → 旭橋 → てだこ浦西駅 → 琉球大学
 モノレール モノレール バス294・297番線
 約10分 約30分 約20分

高速バス ※1時間に1本程度/所要時間:約45分

111 117 番線 琉球バス 沖縄バス 那覇バス 東陽バス
 の4社が交互運行

113 123 152 番線 琉球バス

経路 空港 → バスターミナル → 那覇 → 沖縄自動車道 → 徒歩約4分 → 琉大入口

やんばる急行バス 経路 空港 → 駅前 → おもろまち → 古島駅前 → 大平 → 琉大入口

那覇から

路線バス ※各20~40分に1本程度/所要時間:約40~50分

97 番線 ▶▶▶ 琉大東口/北口方面 那覇バス

経路 バスターミナル → 国際通り(牧志) → 儀保(首里) → 琉球大学病院前 → 琉大東口 → 琉大北口駐車場

98 番線 ▶▶▶ 琉大北口方面 琉球バス

経路 道の駅豊崎 → バスターミナル → 那覇 → 国際通り(牧志) → 古島駅前 → 真栄原 → 沖国大前 → 琉大北口駐車場

首里から

路線バス ※1時間に1本程度/所要時間:約25分

94 番線 ▶▶▶ 琉大南口/北口方面 那覇バス

モノレール首里駅から琉大北口まで(平日のみ運行)

経路 首里駅前 → 琉球大学病院前 → 琉大附属小学校 → 琉大キャンパス → 琉大北口駐車場

東海岸側(与那原/コザ)から

路線バス ※各30分に1本程度/所要時間:約40~50分

30 番線 ▶▶▶ 泡瀬東線 バス停「奥間」で護佐丸バスに乗り換え

- 与那原からは下り泡瀬営業所行き
- コザからは上り那覇バスターミナル行き

護佐丸バス 久場琉大線、伊集回り線

経路 奥間 → 県営団地前 → サンエー前 → 琉大東口 → 琉大附属学校前 → 琉大北口

詳しくはコチラ /



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 学生部入試課 098-895-8141/8142
 E-mail nsnsl@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学 検索

https://www.u-ryukyu.ac.jp